

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2006-149552

(P2006-149552A)

(43) 公開日 平成18年6月15日(2006.6.15)

(51) Int. Cl.

A63F 7/02 (2006.01)

F I

A63F 7/02 320

A63F 7/02 350Z

テーマコード (参考)

2C088

審査請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 28 頁)

(21) 出願番号 特願2004-342425 (P2004-342425)

(22) 出願日 平成16年11月26日(2004.11.26)

(71) 出願人 000144522

株式会社三洋物産

愛知県名古屋市千種区今池3丁目9番21号

(74) 代理人 100110744

弁理士 藤川 敬知

(72) 発明者 浅野 弘幸

愛知県名古屋市千種区今池3丁目9番21号 株式会社三洋物産内

Fターム(参考) 2C088 AA42 AA54 EB55 EB68

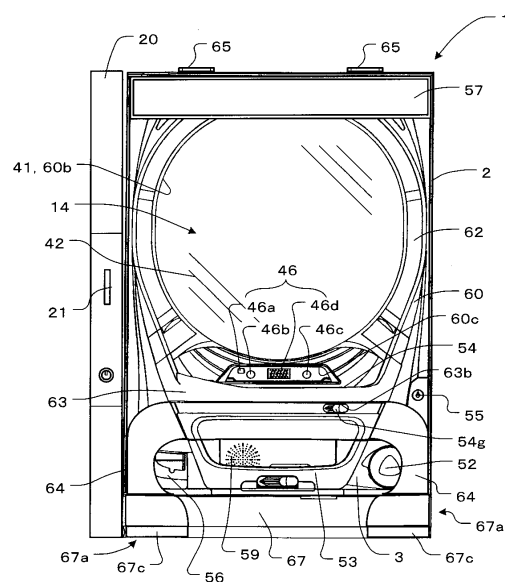
(54) 【発明の名称】 遊技機

(57) 【要約】

【課題】 遊技機本体の前面に設けられる部材との干渉を回避しつつワイドに画面表示可能な表示装置を備えた遊技機を提供することである。

【解決手段】 図柄変動表示装置57が、立脚部60fを介して立ち上がる装飾枠本体60Aの前面上部に、遊技機本体の前面をなすガラス扉枠4を左右に跨ぐように取り付けられているので、表示装置57とガラス扉枠4との間に空間が形成され、簡単な構造で遊技領域14との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。

【選択図】 図1



**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

画面表示可能な表示装置を備えた遊技機において、  
前記表示装置が、遊技機本体の前面に設けられる所定部材より前方にてその所定部材の少なくとも一部と正面視で重なり合って配設されたことを特徴とする遊技機。

**【請求項 2】**

前記表示装置が前記本体前面にて所定方向に跨って配設されたことを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

**【請求項 3】**

前記本体前面の少なくとも一部を覆う装飾枠を備え、  
その装飾枠に前記表示装置が前記本体前面を所定方向へ跨ぐように取り付けられたことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

**【請求項 4】**

前記本体には、その前面を所定方向に跨ぐブリッジ状の張出し部が設けられ、  
その張出し部に前記表示装置が取り付けられたことを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

**【発明の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本発明は、パチンコ遊技機、スロットマシン、パチロット遊技機等の各種の遊技機に関するものである。

**【背景技術】****【0002】**

近年、従来に比べて遊技領域を大型化したパチンコ遊技機が実用化されている。例えば、図 3 1 に示す従来のパチンコ遊技機 5 0 1 では、遊技領域 5 1 4 を臨む略円形の窓部 5 4 1 が設けられたガラス扉枠 5 0 4 下部に上皿 5 5 4 を一体的に設けると共に、遊技領域 5 1 4 とガラス扉枠 5 0 4 の上端又は左右両端から遊技領域 5 1 4 までの最小距離を 5 0 mm 程度まで縮小することにより、遊技領域 5 1 4 の直径を従来よりも約 6 0 mm 長い 4 4 0 mm 程度に拡大されている。このパチンコ遊技機 5 0 1 によれば、大型の遊技領域 5 1 4 内を遊技球が落下することによるダイナミックな遊技を楽しめるようになっている。

**【0003】**

一方、遊技機には、遊技者が長時間に亘って退屈させることなく遊技を楽しめるようにするために、遊技領域内に設けられた図柄変動表示装置とは別に、遊技場側から送信されるニュース、天気予報、広告情報、お知らせ等各種の情報を画面表示可能な表示装置を配設したものが提案されている（例えば、特許文献 1 参照。）。

**【0004】**

さらに、前面に設けられるガラス扉枠において、ガラス板を除く全域に亘って有機 E L 表示器を配置する構成として、演出効果並びに装飾効果を高め、表示装置の表示態様をより効果的に演出することを可能としたパチンコ遊技機が提案されている（例えば、特許文献 2 参照。）。

**【特許文献 1】特開 2 0 0 0 - 3 3 1 7 2 号公報****【特許文献 2】特開 2 0 0 4 - 3 3 4 2 4 号公報****【発明の開示】****【発明が解決しようとする課題】****【0005】**

しかしながら、図 3 1 に示す従来のパチンコ遊技機 5 0 1 では、ガラス扉枠 5 0 4 において遊技領域 5 1 4 が占める割合が大きくなり、各種情報表示や演出表示を行う表示装置を配設するためのスペースを確保することが困難となっているという問題がある。さらに、表示装置を大型化することにより、表示される情報量を増大させたり、多彩な演出表示を行いたいとの要求があるが、従来の遊技機では、そのような要求を十分に満たすことが

10

20

30

40

50

できなかった。尚、特許文献2のパチンコ遊技機では、遊技領域の周囲に表示領域を設けるため、遊技領域を拡大するのに伴って表示領域が小さくなり、遊技領域及び表示装置の双方の大型化を両立することができない点や、画面全体が本体前面と平行となっているため、画面表示を視認しづらく、遊技者の視界に入り難い場合がある点等の欠点がある。

【0006】

解決しようとする課題は、遊技機本体の前面に設けられる部材との干渉を回避しつつワイドに画面表示可能な表示装置を備えた遊技機を提供することである。

【課題を解決するための手段】

【0007】

以下、上記課題を解決するのに適した各手段につき、必要に応じて作用効果等を付記しつつ説明する。 10

1. 画面表示可能な表示装置を備えた遊技機において、

前記表示装置が、遊技機本体の前面に設けられる所定部材より前方にてその所定部材の少なくとも一部と正面視で重なり合って配設されたことを特徴とする遊技機。

手段1によれば、画面表示可能な表示装置が遊技機本体の前面に設けられる所定部材より前方にてその所定部材の少なくとも一部と正面視で重なり合って配設されているので、本体前面に設けられる所定部材との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。また、表示装置が大きく設けられることによって、表示可能な情報量を増大させたり、多彩な演出表示を行うことが可能となり、遊技の興趣をより一層向上させることができる。尚、本体前面に設けられる所定部材とは、遊技機本体の前面に配設される各種の部材を意味しており、例えば、遊技領域、スピーカ、電飾部材、表示装置等が含まれる。 20

【0008】

2. 前記表示装置が前記本体前面にて所定方向に跨って配設されたことを特徴とする手段1に記載の遊技機。

手段2によれば、画面表示可能な表示装置が本体前面を所定方向（左右又は上下若しくは斜め方向）に跨って配設されているので、本体前面に設けられる遊技領域等の所定部材との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。また、表示装置が所定方向に大きく設けられることによって、表示可能な情報量を増大させたり、多彩な演出表示を行うことが可能となり、遊技の興趣をより一層向上させることができる。 30

【0009】

3. 前記本体前面の少なくとも一部を覆う装飾枠を備え、

その装飾枠に前記表示装置が前記本体前面を所定方向へ跨ぐように取り付けられたことを特徴とする手段2に記載の遊技機。

手段3によれば、本体前面の少なくとも一部を覆う装飾枠に本体前面を所定方向へ跨ぐように表示装置が取り付けられているので、簡単な構造で本体前面に設けられる所定部材との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。また、表示装置を装飾枠側に設けることによって、多くの部材が取り付けられる本体側における重量負担が軽減される。例えば、パチンコ遊技機において、遊技領域を臨む窓部を有する本体側のガラス扉枠を覆うように装飾枠を設け、その装飾枠にガラス扉枠前面を左右に跨ぐように表示装置を取り付ける構成としてもよい。 40

【0010】

4. 前記装飾枠は、前記本体側へ突設された立脚部を有し、その立脚部を介して前記本体から立ち上がるように構成されたことを特徴とする手段3に記載の遊技機。

手段4によれば、本体から立脚部を介して立ち上がる装飾枠に、本体前面を所定方向へ跨ぐように表示装置が取り付けられているので、表示装置と本体との間に空間が形成され、簡単な構造で本体前面に設けられる所定部材との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。

【0011】

5. 前記装飾枠には、前記本体前面を所定方向へ跨ぐブリッジ状の張出し部が設けられ 50

、その張出し部に前記表示装置が取り付けられたことを特徴とする手段 3 又は 4 に記載の遊技機。

手段 5 によれば、装飾枠に設けられた本体前面を所定方向へ跨ぐブリッジ状の張出し部に表示装置が取り付けられることにより、表示装置と本体との間に空間が形成され、簡単な構造で本体前面に設けられる所定部材との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。また、表示装置が遊技者側へ張り出して設けられるため、迫力ある視覚的効果が発揮される。さらに、例えば、張出し部が左右方向へ跨って設けられる構成では、張出し部と本体前面との間に上下に開放された空間部が形成されるため、本体前面において必要な明るさが確保されて快適に遊技を楽しむことができる。

10

【0012】

6．前記装飾枠は、前記本体に対して開閉可能に設けられたことを特徴とする手段 3 乃至 5 のいずれかに記載の遊技機。

手段 6 によれば、装飾枠を本体側へ閉じることにより表示装置が所定部材を所定方向に跨ぐ構造が形成される。一方、装飾枠を本体側から開放することにより、本体前面へ容易にアクセス可能となり、遊技機のメンテナンス作業等を円滑に行うことができる。

【0013】

7．前記本体には、その前面を所定方向に跨ぐブリッジ状の張出し部が設けられ、その張出し部に前記表示装置が取り付けられたことを特徴とする手段 2 に記載の遊技機。

20

手段 7 によれば、本体前面を所定方向に跨ぐブリッジ状の張出し部に表示装置が取り付けられることにより、表示装置の取り付け強度を確保しつつ、所定部材を所定方向に跨ぐ構造を実現することができる。また、表示装置が遊技者側へ張り出して設けられるため、迫力ある視覚的効果が発揮される。さらに、例えば、張出し部が左右方向へ跨って設けられる構成では、張出し部と本体前面との間に上下に開放された空間部が形成されるため、本体前面において必要な明るさが確保されて快適に遊技を楽しむことができる。例えば、パチンコ遊技機において、本体の遊技領域を臨む窓部が設けられるガラス扉枠の上部に遊技領域を跨ぐように張出し部を設け、その張出し部の前面に表示装置を取り付ける構成としてもよい。パチロット遊技機やスロットマシンにおいて、回転リールを臨む窓部が設けられるフロントパネルの上部にスピーカ等を跨ぐように張出し部を設け、その張出し部の

30

【0014】

8．前記表示装置は、前記本体側に設けられた遊技領域を所定方向に跨ぐように配設されたことを特徴とする手段 2 乃至 7 のいずれかに記載の遊技機。

手段 8 によれば、本体側に設けられた遊技領域を所定方向に跨ぐように表示装置が配設されているので、遊技領域との干渉が確実に回避され、遊技領域の大型化と表示装置の大型化との両立が可能となる。また、常に遊技者によって注視される遊技領域の近傍に表示装置が設けられるので、画面表示が遊技者の視界に入り易く、より一層効果的に情報表示や演出表示を行うことができる。

【0015】

40

9．前記表示装置は、前記本体前面の上部に配設されたことを特徴とする手段 1 乃至 8 のいずれかに記載の遊技機。

手段 9 によれば、表示装置が本体前面の上部に配設されているので、当該部分に配設される部材、例えば、遊技領域の上部や電飾部材等との干渉が回避されると共に、遊技者から見易い位置で画面表示を行うことができる。

【0016】

10．前記表示装置は、遊技者の視線方向に向けて傾斜配置されたことを特徴とする手段 1 乃至 9 のいずれかに記載の遊技機。

手段 10 によれば、表示装置が遊技者の視線方向に向けて傾斜配置されているので、遊技者は画面表示を容易に視認することができる。

50

## 【 0 0 1 7 】

1 1 . 前記表示装置は、所定の傾斜角となるように回動可能に設けられたことを特徴とする手段 1 乃至 1 0 のいずれかに記載の遊技機。

手段 1 1 によれば、表示装置は、所定の傾斜角となるように回動可能に設けられているので、各遊技者が自分の視線方向と一致するように表示装置の傾斜角を調整して画面表示をより一層視認し易くすることができる。

## 【 0 0 1 8 】

1 2 . 前記表示装置は、液晶ディスプレイからなることを特徴とする手段 1 乃至 1 1 のいずれかに記載の遊技機。

手段 1 2 によれば、表示装置が液晶ディスプレイからなるので、高精細で見易い画面表示を行うことができる。 10

## 【 0 0 1 9 】

1 3 . 前記表示装置は、E L ディスプレイからなることを特徴とする手段 1 乃至 1 1 のいずれかに記載の遊技機。

手段 1 3 によれば、表示装置が E L ディスプレイからなるので、高輝度で見易い画面表示を行うことができる。また、E L ディスプレイは可撓性を有する材質からなるので、アーチ状に湾曲させて配設することができる。

## 【 0 0 2 0 】

1 4 . 前記表示装置は、L E D ディスプレイからなることを特徴とする手段 1 乃至 1 1 のいずれかに記載の遊技機。 20

手段 1 4 によれば、表示装置が L E D ディスプレイからなるので、安価な構成で明るく見易い画面表示を行うことができる。

## 【 0 0 2 1 】

1 5 . 前記表示装置は、タッチパネル式ディスプレイからなることを特徴とする手段 1 乃至 1 4 のいずれかに記載の遊技機。

手段 1 5 によれば、表示装置がタッチパネル式ディスプレイからなるので、遊技者が指で表示装置の画面に触れることによって容易に各種の入力操作を行うことができる。

## 【 0 0 2 2 】

1 6 . 前記表示装置は、所定の遊技の実行に関連して画面表示するように構成されたことを特徴とする手段 1 乃至 1 5 のいずれかに記載の遊技機。 30

手段 1 6 によれば、遊技者により注視される所定の遊技の実行に関連した画面表示を本体前面にてワイドに見易く表示することができるので、遊技の興趣をより一層向上させることができる。

## 【 0 0 2 3 】

1 7 . 前記表示装置は、複数の図柄列が変動表示される図柄変動表示装置によって構成されたことを特徴とする手段 1 6 に記載の遊技機。

手段 1 7 によれば、遊技者によって注視される複数の図柄列の変動表示を、本体前面にて大きく且つ見易く表示することができる。例えば、変動表示される複数の図柄列のうち、1 つを除く他の図柄列の停止時の組合せが大当り図柄の組合せであるリーチ遊技状態となったときに、本体前面にてワイドにリーチ演出表示を行うことができるので、遊技者における大当り発生の期待感を効果的に高めることができる。また、全ての図柄列の停止時の組合せが大当り図柄の組合せである大当り遊技状態となったときに、本体前面にてワイドに大当り演出表示を行うことができるので、遊技の興趣を効果的に高めることができる。 40

## 【 0 0 2 4 】

1 8 . 前記表示装置は、外部より受信した表示用データに基づいて画面表示を行うように構成されたことを特徴とする手段 1 乃至 1 7 のいずれかに記載の遊技機。

手段 1 8 によれば、表示装置は、外部（例えば、遊技ホールに設置されて各遊技機と接続されるホールサーバ等）より受信した広告宣伝情報、ニュース、お知らせ等に関する表示用データに基づいて各種の情報を、本体前面にてワイドに画面表示することができる。 50

## 【 0 0 2 5 】

19. 前記表示用データは、インターネット等の通信回線を介して受信されることを特徴とする手段18に記載の遊技機。

手段19によれば、インターネット等の通信回線を介して受信された広告宣伝情報、ニュース、お知らせ等に関する表示用データに基づいて各種の情報を、本体前面にてワイドに画面表示することができる。

## 【 0 0 2 6 】

20. 前記遊技機は、パチンコ遊技機であることを特徴とする手段1乃至19のいずれかに記載の遊技機。

手段20によれば、パチンコ遊技機において、本体前面に設けられる所定部材、例えば、遊技球が打ち込まれる遊技領域を臨む窓部等との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。

## 【 0 0 2 7 】

21. 前記遊技機は、複数種類の図柄が表示された複数の回転リールを有し、前記各回転リールの回転停止時の図柄の組合わせに基づく入賞態様に応じて遊技球が払い出されるパチロット遊技機であることを特徴とする手段1乃至19のいずれかに記載の遊技機。

手段21によれば、パチロット遊技機において、本体前面に設けられる所定部材、例えば、回転リールを臨む窓部やスピーカ等との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。

## 【 0 0 2 8 】

22. 前記遊技機は、スロットマシンであることを特徴とする手段1乃至19のいずれかに記載の遊技機。

手段22によれば、スロットマシンにおいて、本体前面に設けられる所定部材、例えば、回転リールを臨む窓部やスピーカ等との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。

## 【 発明の効果 】

## 【 0 0 2 9 】

本発明によれば、画面表示可能な表示装置が遊技機本体の前面に設けられる所定部材より前方にてその所定部材の少なくとも一部と正面視で重なり合って配設されているので、本体前面に設けられる所定部材（例えば、遊技領域、スピーカ、電飾部材、表示装置等）との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。また、表示装置が大きく設けられることによって、表示可能な情報量を増大させたり、多彩な演出表示を行うことが可能となり、遊技の興趣をより一層向上させることができる。

## 【 発明を実施するための最良の形態 】

## 【 0 0 3 0 】

以下、本発明の遊技機を具体化した各実施形態について説明する。最初に、第一の実施形態であるパチンコ遊技機（以下、単に「パチンコ機」と称する）1について説明する。パチンコ機1は、内部の遊技球払い出し機構を利用して遊技球の貸し出しを行うCR機と称されるタイプのパチンコ機であり、図1に示すように、カードユニット20が隣接配置され且つ電氣的に接続されている。カードユニット20は、予め金額情報が記録された価値媒体としての図示しないプリペイドカードを投入可能なカード投入口21を有し、プリペイドカードから金額情報の読み出し及び書き込みが可能となっている。

## 【 0 0 3 1 】

パチンコ機1は、図1乃至図4に示すように、外枠2と、その外枠2の前部に設けられ外枠2の一側部にて開閉可能に支持され且つ遊技領域14を有する本体枠3とを備えている。外枠2は、パチンコ機1のベースとなる枠であり、板材により全体として矩形状に構成され、本体枠3を矩形開口内にて開閉可能に支持している。また、外枠2前面下部には、合成樹脂、具体的にはABS（アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン）樹脂からなり、前方へ突出形成された左右一对の脚状部67a、67aを有する下部装飾部材67が取り付けられている。また、左右一对の脚状部67a、67aの下面には弾性体としての

ゴム部材 67c, 67c が取り付けられており、脚状部 67a, 67a がゴム部材 67c, 67c にてパチンコ機 1 が載置される床面 (遊技機島台の載置面) に当接するように設けられている。尚、本実施の形態では、外枠 2 は木製であって、上下方向の長さは 808 mm、左右方向の長さは 520 mm となっている。

【0032】

本体枠 3 は、合成樹脂、具体的には ABS 樹脂により構成されている。本体枠 3 の開閉軸線はパチンコ機 1 の正面から見て左側に上下に延びるように設定されている。尚、外枠 2 は樹脂により構成されていてもよく、あたかも外枠 2 及び本体枠 3 が一体物に見えるように構成されていてもよい。

【0033】

本体枠 3 には、後述する下皿ユニット 51 を除く本体枠 3 の前面側を覆うように、ガラス扉枠 4 が本体枠 3 左端の垂直軸心回りに開閉自在に設けられている。さらに、本体枠 3 には、装飾枠 60 が本体枠 3 上端の水平軸心回りに開閉自在に設けられている。尚、装飾枠 60 を除き、外枠 2、本体枠 3 及びガラス扉枠 4 を主要構成とするパチンコ機 1 の全ての部分が、本発明の遊技機本体を構成するものである。

【0034】

本体枠 3 の後側 (ガラス扉枠 4 の奥、外枠 2 の内側) には、図 5 に示すように、遊技盤 5 が着脱可能に装着されている。なお、遊技盤 5 は、その周縁部が本体枠 3 の裏側に当接した状態で取り付けられており、図 5 では、遊技盤 5 の前面部の略中央部分だけが本体枠 3 の前面側に露出した状態となっている。この遊技盤 5 の上下方向の長さは 476 mm、左右方向の長さは 451 mm となっている。また、遊技盤 5 には、ルータ加工が施されることによって複数の開口部が形成されており、各開口部には、普通入賞チャッカー 6、可変入賞装置 7、作動チャッカー 8、スルーチャッカー 10 等が配設されている。

【0035】

尚、後述する図柄変動表示装置 57 の制御を行う表示制御基板や、スピーカ 59 における音声出力の制御を行う音声制御基板を含む各種の制御基板は、図 4 に示すように、遊技盤 5 の背面側に設けた透明樹脂製の裏パック 5a によって覆われている。また、パチンコ機 1 の主制御を行うメイン基板はメイン基板ボックス 5b に、入賞による遊技球の払い出しやカードユニット 20 からの貸し出し要求に基づいて遊技球の払い出しを行う払出ユニット 5d 及び遊技球の発射を行う発射装置 31 の制御を行う払出發射制御基板は払出發射制御基板ボックス 5c にそれぞれ収納されている。

【0036】

また、可変入賞装置 7 は、通常、遊技球 B が入賞できない状態又は入賞し難い状態になっている。より詳しくは、作動チャッカー 8 に対し遊技球 B が入賞することに基づいて、図柄変動表示装置 57 の液晶表示部の図柄が可変表示される。そして、確定された図柄の組合わせが予め設定した特定の図柄の組合わせとなったこと、ここでは停止した図柄が特定の組み合わせであることを必要条件に特別遊技状態が発生し、可変入賞装置 7 の大入賞口が所定の開放状態となり (具体的には所定時間、所定回数だけ開く)、遊技球 B が入賞しやすい状態 (大当たり遊技状態) になるよう構成されている。尚、図柄変動表示装置 57 において変動表示される複数の図柄列のうち、1 つを除く他の図柄列の停止時の組合わせが大当たり図柄の組合せであるリーチ遊技状態となったときに、図柄変動表示装置 57 においてリーチ演出画面が表示されると共に、リーチ遊技状態の発生がスピーカ 59 から出力される効果音によって報知される。

【0037】

また、周知のとおり、前記一般入賞口 6、可変入賞装置 7、作動チャッカー 8 に遊技球 B が入賞することに基づいて、後述する上皿 54 (場合によっては下皿 53) に対し所定数の遊技球が景品球として払い出されるようになっている。また、遊技盤 5 には、遊技球 B の落下方向を適宜分散、調整等するために多数の釘が植設されているとともに、風車 9 等の各種部材 (役物) が配設されている。

【0038】

10

20

30

40

50

さて、本体枠 3 は、外形が前記外枠 2 とほぼ同一形状をなす樹脂ベース 1 1 と、この樹脂ベース 1 1 の最内周側に位置し略円弧状をなすよう一体形成された内レール 1 2 と、主として図の左側の内レール 1 2 に対し所定間隔を隔てて前記樹脂ベース 1 1 に一体形成された外レール 1 3 とを備えている。これら内レール 1 2 及び外レール 1 3 は遊技球発射ハンドル 5 2 の回動操作に基づき発射装置 3 1 から発射された遊技球 B を遊技盤 5 上部へ案内する発射路としての役割を主として果たすものである。従って、内レール 1 2 と外レール 1 3 とが並行する部分（向かって左側の部分）によって、誘導レールが構成されることとなる。

#### 【0039】

前記内レール 1 2 の下端部付近において、遊技盤 5 には遊技球 B を導出するアウト口 2 5 が形成されている。そして、遊技盤 5 の下部に落下した遊技球の多くは、このアウト口 2 5 を通って図示しない球排出路の方へと案内されるようになっている。このような構成の下、本体枠 3 の内周側の窓孔によって主として遊技領域の外延が確定されており、本体枠 3 に対し遊技盤 5 が装着された状態にあつては、内レール 1 2 及び外レール 1 3 が遊技盤 5 に当接又は近接した状態となる。そして、発射装置 3 1 により発射された遊技球 B は、主として外レール 1 3 によって遊技盤 5 の上部へと案内される。また、遊技盤 5 には、遊技球の払い出しを行う払出口 3 2 が設けられ、この払出口 3 2 に連通するようにガラス扉枠 4 側に払出口 4 5 が設けられている（図 7 参照）。

#### 【0040】

次に、遊技領域 1 4 について説明する。本実施の形態では、遊技領域 1 4 を、パチンコ機 1 の正面から見て、内レール 1 2 及び外レール 1 3 によって囲まれる領域のうち、内外レール 1 2 , 1 3 の並行部分である誘導レールの領域を除いた領域としている。また、パチンコ機 1 において、外レール 1 3 の最上部地点から遊技盤 5 下部までの間の距離は 4 6 2 mm、外レール 1 3 の極左位置から内レール 1 2 の極右位置までの間の距離は 4 4 9 mm となっている。また、内レール 1 2 の極左位置から内レール 1 2 の極右位置までの間の距離は 4 3 2 mm となっている。尚、遊技領域 1 4 が、本発明の所定部材を構成するものである。

#### 【0041】

併せて、図 1 及び図 6 に示すように、ガラス扉枠 4 の存在していない本体枠 3 下部は、例えば ABS（アクリロニトリル - ブタジエン - スチレン）樹脂よりなる下皿ユニット 5 1 となっている。下皿ユニット 5 1 の右下部からは、遊技球発射用ハンドル 5 2 が手前側に延設されている。また、下皿ユニット 5 1 のほぼ中央部には球受け皿としての景品球払出用の下皿 5 3 が設けられている。さらに、下皿ユニット 5 1 には下皿 5 3 の左側に隣接して灰皿 5 6 が設けられている。

#### 【0042】

次に、ガラス扉枠 4 について、図 6 及び図 7 を参照しつつ説明する。ガラス扉枠 4 には、前記遊技領域 1 4 の殆どを外部から視認することができるよう略楕円形状の窓部 4 1 が形成されている。具体的には、前記窓部 4 1 は、その左右側の略中央部が、上下側に比べて比較的緩やかに湾曲した形状となっている。なお、前記略中央部が直線状になるようにしてもよい。本実施の形態において、前記窓部 4 1 の上端（外レール 1 3 の最上部、遊技領域の上端）と、ガラス扉枠 4 の上端との間の距離（いわゆる上部フレーム部分の上下幅）は 5 0 mm となっており、8 5 mm ~ 9 5 mm 程度上部フレーム幅がある従来技術に比べ、著しく短くなっている。なお、上記距離は、8 0 mm 以下であることが望ましく、より望ましくは 7 0 mm 以下であり、さらに望ましくは 6 0 mm 以下である。勿論、所定の強度が確保できるのであれば、5 0 mm 以下であっても差し支えない。

#### 【0043】

また、窓部 4 1 の左端と、ガラス扉枠 4 の左端との間の最短距離（いわゆる左側部フレーム部分の左右幅）は、ガラス扉枠 4 自体の強度及び支持強度を高めるために比較的大きく設定されている。より詳しくは、図 1 及び図 7 を相互に比較すると明らかなように、ガラス扉枠 4 が閉じられた状態において、外レール 1 3 の左側部は勿論、内レール 1 2 の左

10

20

30

40

50



側部も前記左側部フレーム部分によって覆い隠される。すなわち、誘導レールの一部が覆い隠される。このように遊技球 B が一時的に視認困難となったとしても、それは、遊技球 B が遊技領域 1 4 に案内される通過点に過ぎず、遊技者が主として遊技を楽しむ遊技領域において遊技球 B が視認困難となるわけではない。そのため、実際の遊技に際しては何ら支障が生じない。また、このような支障が生じない一方で、ガラス扉枠 4 の十分な強度及び支持強度が確保可能となっている。ちなみに、外レール 1 3 の左端位置と外枠 2 の左端位置との左右方向の距離は 2 1 mm、遊技領域の右端位置（内レール 1 2 の右端位置）と外枠 2 右端位置との左右方向の距離は 4 4 mm となっている。また、ガラス扉枠 4 には、図 7 に示すように、その左右フレーム部分の裏側において、そのガラス扉枠 4 を補強するための例えば金属製の補強部材 4 3 , 4 4 が取り付けられている。

10

#### 【 0 0 4 4 】

また、ガラス扉枠 4 の開閉軸線（軸支部）もパチンコ機 1 の正面から見て左側に上下に延びるように設定されている。詳しくは、ガラス扉枠 4 の背面図である図 7 に示すように、ガラス扉枠 4 の裏側から見て右側の上端部付近に回動軸 9 1 が設けられ、図 7 に示すように本体枠 3 の正面から見て左側の上端部付近には回動軸 9 1 が嵌め込まれる軸受部 9 2 が設けられている。また、軸受部 9 2 の下方には、上方に突出する突回動軸 9 3 が設けられ、ガラス扉枠 4 の下側面には、前記回動軸 9 1 の下方位置において、前記突回動軸 9 3 を嵌め込むための図示しない軸受凹部が設けられている。そして、突回動軸 9 3 を前記軸受凹部に嵌め込み、回動軸 9 1 を軸受部 9 2 に嵌め込むことによって、ガラス扉枠 4 が軸支され開閉可能となる。このように本実施の形態では、回動軸 9 1 と突回動軸 9 3 を結ぶ線がガラス扉枠 4 の開閉軸線として設定されている。

20

#### 【 0 0 4 5 】

また、ガラス扉枠 4 には、裏側から一対のガラス板 4 2 が並行して取り付けられている。ガラス扉枠 4 の左右方向の長さは、本体枠 3 とほぼ同等であり、そのガラス扉枠 4 によって本体枠 3 下部に設けられた下皿ユニット 5 1 を除く殆どの部分が覆われるようになっている。

#### 【 0 0 4 6 】

ガラス扉枠 4 における窓部 4 1 下方の下部フレームには、上皿 5 4 が一体的に設けられている。上皿 5 4 は、合成樹脂を成形することによって製造され、ガラス扉枠 4 の払出し口 4 5 より払い出された遊技球及び遊技者により投入された遊技球を貯留する貯留部 5 4 a、払出し口 4 5 より払い出された遊技球を貯留部 5 4 a へ流入させる流入口 5 4 1、及び貯留部 5 4 a に貯留された遊技球をガラス扉枠 4 の供給穴 4 9 を通して発射装置 3 1 側へ供給する供給口 5 4 r を有し、流入口 5 4 1 及び供給口 5 4 r の後端面においてガラス扉枠 4 にビス等を用いて取り付け固定されている。

30

#### 【 0 0 4 7 】

上皿 5 4 の貯留部 5 4 a は、流入口 5 4 1 及び供給口 5 4 r に連続する底面部 5 4 b と、底面部 5 4 b の周囲を取り囲むように立設された前壁部 5 4 c と、底面部 5 4 b を挟んで前壁部 5 4 c と対向するように流入口 5 4 1 と供給口 5 4 r との間に立設され且つ前壁部 5 4 c 側へ凸状となるように湾曲形成された後壁部 5 4 d とを有している。底面部 5 4 b は、左右方向に細長く且つガラス扉枠 4 から前方へ張り出すように形成されている。また、底面部 5 4 b 後部の流入口 5 4 1 と供給口 5 4 r との間には前方側へ凹状をなす凹状輪郭部 5 4 u が形成され、上述した後壁部 5 4 d は凹状輪郭部 5 4 u に沿って立設されている。後壁部 5 4 d は、左右方向中央部でガラス扉枠 4 より数十 mm 程度（例えば、30 ~ 50 mm）前方側へ離間しており、後壁部 5 4 d 背面とガラス扉枠 4 前面との間に空間部 5 4 h が形成される構造となっている。尚、図 8（a）は上皿 5 4 の平面図、（b）は（a）の上皿 5 4 の A - A 線断面図である。

40

#### 【 0 0 4 8 】

貯留部 5 4 a の底面部 5 4 b 上には、後壁部 5 4 d の右側に、遊技球を一行に整列させて供給口 5 4 r より供給穴 4 9 を通して発射装置 3 1 側へ流下させる整流部 5 4 e が設けられている。整流部 5 4 e には、遊技球を後述する直線部 5 4 f へ誘導するための傾斜壁

50

5 4 k が、直線部 5 4 f を挟んで前壁部 5 4 c 側及び後壁部 5 4 d 側に形成されており、遊技球の流路が徐々に狭まる構造となっている。また、整流部 5 4 e には、底面部 5 4 b 上で前後方向に延設され且つ前方側から供給穴 4 9 の位置する後方側に向かって下り傾斜する直線部 5 4 f が設けられ、この直線部 5 4 f の底面に細長い長方形の金属板 5 4 m が装着されている。金属板 5 4 m は、遊技球の流れをスムーズにする機能、底面を補強して摩擦による削れを防止する機能、ノイズを防止する機能等を有している。また、金属板 5 4 m の下流端側には球抜き穴 5 4 j が形成されている。この球抜き穴 5 4 j は、通常の状態において直線部 5 4 f の底面裏側をスライド自在に設けられる開閉弁 5 4 i によって閉塞されており、開閉弁 5 4 i が前壁部 5 4 c に設けられる球抜きレバー 5 4 g の操作により移動されたときに、球抜き穴 5 4 j が開放されて貯留部 5 4 a 内に貯留されていた遊技球を図示しない球抜き通路を介して下皿 5 3 に移動せしめるものである。

10

#### 【0049】

ここで、上皿 5 4 の貯留部 5 4 a における遊技球 B の流れについて、図 9 を参照しつつ説明する。遊技球 B は、払出口 4 5 より払い出されると流入口 5 4 l より貯留部 5 4 a 内に流入し、緩やかに右下がりに傾斜する底面部 5 4 b と、前壁部 5 4 c 及び後壁部 5 4 d とに案内されて貯留部 5 4 a 右側の供給口 5 4 r へ向かって転動して整流部 5 4 e に到達する。また、遊技者によって遊技球 B が貯留部 5 4 a 内へ投入された場合も、同様に、底面部 5 4 b 等に案内されて転動して整流部 5 4 e へ到達する。そして、遊技球 B は整流部 5 4 e の直線部 5 4 f を挟んで両側に設けられた傾斜壁 5 4 k によって誘導されて一列に整列されると共に、直線部 5 4 f 上を下り傾斜する後方側（ガラス扉枠 4 側）へ転動して金属板 5 4 m の下流端より供給穴 4 9 へ流下する。供給穴 4 9 から球送り装置 4 8 へ供給された遊技球は、1 個ずつ発射レール 3 3 に導かれ、発射装置 3 1 によって発射される。

20

#### 【0050】

次に、装飾枠 6 0 について、図 1 0 乃至図 1 3 を参照しつつ説明する。装飾枠 6 0 は、合成樹脂の成形加工により四方連携状に形成され且つ背面の各コーナー近傍（4 箇所）に立脚部 6 0 f が突設された装飾枠本体 6 0 A と、鋼材やアルミダイキャスト等の金属材料によりガラス扉枠 4 の窓部 4 1 を囲むフレーム状に形成され且つ装飾枠本体 6 0 A の立脚部 6 0 f に取り付け固定されるベース部材 6 0 B とを備え、ガラス扉枠 4 の窓部 4 1 の隠蔽を回避しつつ、ガラス扉枠 4 の前側表面の略全域を立ち上がった状態で覆うよう構成されている。ここで、図 1 0 ( a ) は、装飾枠本体 6 0 A の正面図であり、図 1 0 ( b ) は図柄変動表示装置 5 7 における表示例である。また、図 1 1 ( a ) は、ベース部材 6 0 B を示す正面図である。尚、装飾枠本体 6 0 A は、各コーナー近傍（4 箇所）に突設された立脚部 6 0 f においてベース部材 6 0 B 前面に固定される。具体的には、装飾枠本体 6 0 A の各立脚部 6 0 f にネジ孔 6 0 g が形成され、ビス 6 0 h を背面側からベース部材 6 0 B の各コーナー（4 箇所）に形成された取り付け孔 6 0 e を通してネジ孔 6 0 g に螺着することによって装飾枠本体 6 0 A がベース部材 6 0 B に固定される（図 1 1 ( b ) 参照）。

30

#### 【0051】

装飾枠本体 6 0 A の前面上部には、図 1 0 ( a ) に示すように、図柄変動表示装置 5 7 が配設されている。図柄変動表示装置 5 7 は、装飾枠本体 6 0 A 前面の左端近傍から右端近傍に亘る横長の長方形を呈する液晶ディスプレイを備え、例えば、図 1 0 ( b ) に示すように、左図柄列、中図柄列及び右図柄列の 3 つの表示列が画面表示される。各図柄列は複数の図柄によって構成されており、これら図柄が各図柄列毎にスクロールされるように表示画面に可変表示されるようになっている。尚、図柄変動表示装置 5 7 は、液晶ディスプレイからなるので、高精細で見易い画面表示を行うことができる。

40

#### 【0052】

ベース部材 6 0 B 下部中央には、遊技球の貸し出しに関する操作を行うための貸球操作部 4 6 が配設されている。貸球操作部 4 6 は、図 1 及び図 1 1 ( a ) に示すように、遊技球の貸し出し可能状態をランプによって示す貸出ボタンランプ 4 6 a、遊技球の貸し出しを行うための貸出ボタン 4 6 b、プリペイドカードの返却を行うための返却ボタン 4 6 c

50

、プリペイドカードの残り度数を表示する度数表示LED46dとを備えている。遊技者は、後述する装飾枠本体60Aの操作部用開口部60cを介して露出する貸球操作部46各部の視認及び貸出ボタン46bや返却ボタン46cの操作を行うことができる(図1参照)。

#### 【0053】

装飾枠本体60Aの略中央には、略円形状の窓部用開口部60aが形成され、ガラス扉枠4の窓部41に装着されたガラス板42を介して遊技領域14を視認可能となっている。窓部用開口部60aの周囲には、各種ランプ、LED等の発光手段を備えた電飾部材62が設けられている。これら電飾部材62は、大当たり時や所定のリーチ時等の遊技状態の変化に応じて点灯、点滅のように発光手段の発光態様が変更制御され遊技中の演出効果を高める役割を果たすようになっている。勿論、これら電飾部材62を、ガラス扉枠4に設ける構成や遊技盤5に設ける構成(コーナー飾りと称される電飾部材62を遊技盤5のコーナー部等に配設する)としてもよいし、場合によっては本体枠3に設ける構成としてもよい。更には、前後一対のガラス42間に配設する構成としてもよい。

10

#### 【0054】

装飾枠本体60Aの窓部用開口部60aの下方には、台形状の操作部用開口部60bが形成され、ベース部材60B上に配設された貸球操作部46が操作部用開口部60bにおいて前面側に露出している。装飾枠本体60Aの操作部用開口部60bよりもさらに下方には、上皿54前面を覆うように前方へ膨出形成された膨出部63が設けられている。膨出部63は、図9に示すように、装飾枠60がガラス扉枠4に対して閉じた際に上皿54を収容可能な空間が内部に形成されつつ、所望形状で前側(遊技者側)に膨出形成されたものであり、上皿54上面を開口させる上皿用開口部63aが形成されている。この上皿用開口部63aにより、上皿54に貯留された遊技球を取り出したり、或いは上皿54の貯留部に遊技球を補充したりすることができる。また、膨出部63の前面右寄りにレバー用開口部63bが形成されている。上皿54前面に配設された球抜きレバー54gは、レバー用開口部63bより前面側に露出し、遊技者によって左右にスライド操作可能とされる。また、膨出部63には、左右において下方へ延設された一対の装飾枠延設部64、64が設けられている。本体枠3を外枠2側へ閉じ、更に装飾枠60を本体枠3に対して閉じた際に、装飾枠延設部64、64が外枠2下部前面の左右に設けられた脚状部67a、67aにてそれぞれ当接支持される。

20

30

#### 【0055】

尚、装飾枠延設部64、64下面に係合凸部64a、64aが、下部装飾部材67の脚状部67a、67a上面に係合凹部67b、67bがそれぞれ整合するように設けられている。従って、装飾枠60と下部装飾部材67とを閉状態とした際に、係合凸部64a、64aと係合凹部67b、67bとが係合して装飾枠60が脚状部67a、67aにて強固に支持される。

#### 【0056】

また、本体枠3が外枠2に対し閉じられると自動的にロックがかかるようになっており、所定のキー操作が行われることによりロックが解除されるようになっている。同様に、ガラス扉枠4が本体枠3に対し閉じられると自動的にロックがかかり、別途のキー操作が行われることによりロックが解除されるようになっている。さらに同様に、装飾枠60が本体枠3に対し閉じられると自動的にロックがかかり、別途のキー操作が行われることによりロックが解除されるようになっている。このようにロック及びロック解除を行うためのロック機構が本体枠3の右下部、つまり下皿ユニット51の右端部に設けられている。ロック機構には、鍵穴を有するキーシリンダ(解除キー)55、本体枠3及び外枠2間でのロック及び解除を行うための第2ロック機構が含まれる。本実施の形態では、最も幅狭で、遊技領域の拡張を阻害する本体枠の右中央部ではなく、比較的スペースにゆとりのある本体枠3の右下部に、キーシリンダ55をはじめとする上記ロック機構(特にキーシリンダ55)が配設されている。換言すれば、キーシリンダ55は、遊技領域の最大幅となる位置を避けて配置されている。このような構成により、遊技領域の拡張をより容易且

40

50

つ確実に図ることができる。

【0057】

勿論、最も幅狭な部分以外であれば、上記以外の部位に設けてもよく、例えば、本体枠3の右上部に設けるような構成としてもよい。また、上記例では、第1ロック機構及び第2ロック機構をキーシリンダ55でともにロック状態を解除可能としたが、それぞれの解除のためのキーシリンダを別体で設けることとしてもよい。

【0058】

また、ベース部材60B上端には、折り曲げ板形状のヒンジ65が左右一対に取り付けられており、装飾枠60はヒンジ65を介して本体枠3に対して水平軸心回りに（すなわち、上下に）開閉自在に枢着されている。尚、ヒンジ65はベース部材60B上端に配設されているが、これに代えて上部の左右両側面に配設してもよい。ここで、図12は、装飾枠60が上方へ開放されて水平姿勢となった状態を示している。また、図13(a)は、装飾枠60を上方に開放すると共にガラス扉枠4を左側へ開放し、この状態で装飾枠60をガラス扉枠4の上端で支持させることにより、装飾枠60を開放位置に保持した様子を示す図である。具体的には、図13(b)に示すように、ベース部材60B背面に係合突起60dが、ガラス扉枠4上端に係合突起60dに整合する係合凹部4aがそれぞれ形成され、係合突起60dと係合凹部4aとが係合することにより、上方に開放された装飾枠60がガラス扉枠4上端に載置された状態が保持される。

10

【0059】

ここで、パチンコ機1と遊技者の視界との関係について、図14を参照しつつ説明する。図14(a)は、パチンコ機1と遊技者の視界との関係を模式的に示す上面図、(b)はその側面図である。図14(a)に示すように、装飾枠60の窓部用開口部60bは、ガラス扉枠4の窓部41よりも一回り小さい開口となっている。つまり、装飾枠60の窓部開口部60bを正面視でガラス扉枠4の窓部41に一部が重なるように形成されている。尚、遊技領域14は、図14(a)に示すように、遊技者により所定の視野角を持って視認され、遊技領域14の周縁部に対して遊技者の視線が斜めに注がれるので、装飾枠本体60A及び表示装置57が遊技者の視界を妨げることがなく、装飾枠開口部60bを通して遊技領域14全体が視認される。また、図14(b)に示すように、遊技者は、装飾枠本体60Aに配設された表示装置57における画面表示と遊技領域14全体とを視認することができる。

20

30

【0060】

以上詳述したことから明らかなように、本実施形態によれば、図柄変動表示装置57が、立脚部60fを介して立ち上がる装飾枠本体60Aの前面上部に、遊技機本体の前面をなすガラス扉枠4を左右に跨ぐように取り付けられているので、図柄変動表示装置57とガラス扉枠4との間に空間が形成され、簡単な構造で遊技領域14を臨む窓部41との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。つまり、遊技領域14を左右に跨ぐように図柄変動表示装置57が配設されることにより、図柄変動表示装置57が遊技機本体の前面に設けられる遊技領域14より前方にて遊技領域14の上部と正面視で重なり合う構造が形成され、遊技領域14の大型化と図柄変動表示装置57の大型化との両立が可能となる。また、常に遊技者によって注視される遊技領域14の近傍に図柄変動表示装置57が設けられるので、画面表示が遊技者の視界に入り易く、より一層効果的に情報表示や演出表示を行うことができる。また、図柄変動表示装置57が左右に大きく設けられることによって、表示可能な情報量を増大させたり、多彩な演出表示を行うことが可能となり、遊技の興趣をより一層向上させることができる。例えば、変動表示される複数の図柄列のうち、1つを除く他の図柄列の停止時の組合せが大当たり図柄の組合せであるリーチ遊技状態となったときに、本体前面の図柄変動表示装置57にてワイドにリーチ演出表示を行うことができるので、遊技者における大当たり発生の期待感を効果的に高めることができる。また、全ての図柄列の停止時の組合せが大当たり図柄の組合せである大当たり遊技状態となったときに、本体前面の図柄変動表示装置57にてワイドに大当たり演出表示を行うことができるので、遊技の興趣を効果的に高めることができる。

40

50

## 【 0 0 6 1 】

また、表示装置 5 7 を装飾枠 6 0 側に設けることによって、ガラス扉枠 4 側における重量負担が軽減される。また、装飾枠 6 0 は、本体枠 3 に対して開閉可能に設けられているので、装飾枠 6 0 を本体枠 3 側へ閉じることにより表示装置 5 7 がガラス扉枠 4 前面を左右に跨ぐ構造が形成される。一方、装飾枠 6 0 を本体枠 3 側から開放することにより、ガラス扉枠 4 及び本体枠 3 へ容易にアクセス可能となり、パチンコ機 1 のメンテナンス作業等を円滑に行うことができる。

## 【 0 0 6 2 】

次に、本発明の第二の実施形態について、図 1 5 乃至図 2 0 を参照しつつ説明する。第二の実施形態は、複数種類の図柄が表示された複数の回転リールを有し、各回転リールの回転停止時の図柄の組合わせに基づく入賞態様に応じて遊技球が払い出されるパチロット遊技機（以下、単に「パチロット機」と称する）である。本実施形態のパチロット機 1 0 1 は、図 1 5 に示すように、正面側に開口すると共に、複数種類の図柄が表示された図示しない複数（3 個）の回転リールが収容される本体枠 1 2 0 と、本体枠 1 2 0 の前面を覆うように左右に開閉可能に取り付けられ、ガラス板 1 4 3 a が装着されて各回転リールの図柄を視認可能とされた表示窓 1 4 3 を有する合成樹脂製のフロントパネル 1 4 0 と、フロントパネル 1 4 0 前面の大部分を覆うように上下に開閉自在に設けられる装飾パネル 1 6 0 とを備えている。本体枠 1 2 0 前面下部には、合成樹脂、具体的には A B S 樹脂からなり、前方へ突出形成された左右一対の脚状部 1 6 7 a , 1 6 7 a を有する下部装飾部材 1 6 7 が取り付けられている。尚、装飾パネル 1 6 0 が本発明の装飾枠を構成するものである。また、装飾パネル 1 6 0 を除き、本体枠 1 2 0 及びフロントパネル 1 4 0 を主要構成とするパチロット機 1 0 1 の全ての部分が、本発明の遊技機本体を構成するものである。また、本実施形態では、3 個の回転リールにおいて表示窓 1 4 3 から視認される領域が遊技領域 1 1 4 である。

## 【 0 0 6 3 】

また、フロントパネル 1 4 0 の前面には、上部の左右に音声出力部 1 5 9 , 1 5 9 、払い出された遊技球を貯留する上皿 1 4 4 、払い出された遊技球又は上皿 1 4 4 より誘導された遊技球を受けて貯留する下皿 1 7 0 等が設けられている。尚、音声出力部 1 5 9 が、本発明の遊技機本体の前面に設けられる所定部材を構成するものである。音声出力部 1 5 9 には、図示しない接続コードを介して音声制御基板と電氣的に接続されたスピーカ本体 1 5 9 a が収納されている。また、音声出力部 1 5 9 においてスピーカ本体 1 5 9 a の前面を覆うカバー 1 5 9 b には多数の小孔 1 5 9 c が形成されており、スピーカ本体 1 5 9 a から出力される音声は遊技者から聞こえやすくなっている。上皿 1 4 4 の上面には、各回転リールの回転停止時の図柄の組合わせに基づく入賞態様に応じてフロントパネル 1 4 0 の払出し口 1 4 5 より払い出された遊技球及び遊技者により投入された遊技球を貯留する貯留部 1 4 4 a 、払出し口 1 4 5 より払い出された遊技球を貯留部 1 4 4 a へ流入させる流入口 1 4 4 l 、及び貯留部 1 4 4 a に貯留された遊技球をフロントパネル 1 4 0 の供給穴 1 4 9 を通して本体側へ供給する供給口 1 4 4 r が設けられている。

## 【 0 0 6 4 】

装飾パネル 1 6 0 は、合成樹脂の成形加工により四方連携状に形成され且つ背面の各コーナー近傍（4 箇所）に立脚部 1 6 0 f が突設された装飾パネル本体 1 6 0 A と、鋼材やアルミダイキャスト等の金属材料によりフロントパネル 1 4 0 の表示窓 1 4 3 を囲むフレーム状に形成され且つ装飾パネル本体 1 6 0 A の立脚部 1 6 0 f に取り付け固定されるベース部材 1 6 0 B とを備え、フロントパネル 1 4 0 の表示窓 1 4 3 の隠蔽を回避しつつ、フロントパネル 1 4 0 の前側表面の略全域を立ち上がった状態で覆うよう構成されている。また、図 1 7 ( a ) は、ベース部材 1 6 0 B を示す正面図である。尚、装飾パネル本体 1 6 0 A は、図 1 6 で点線により示される背面の各コーナー近傍（4 箇所）に突設された立脚部 1 6 0 f においてベース部材 1 6 0 B 前面に固定される。具体的には、装飾パネル本体 1 6 0 A の各立脚部 1 6 0 f にネジ孔 1 6 0 g が形成され、ビス 1 6 0 h を背面側からベース部材 1 6 0 B の各コーナー（4 箇所）に形成された取り付け孔 1 6 0 e を通して

ネジ孔 1 6 0 g に螺着することによって装飾パネル本体 1 6 0 A がベース部材 1 6 0 B に固定される ( 図 1 7 ( b ) 参照 ) 。装飾パネル本体 1 6 0 A は、フロントパネル 1 4 0 の表示窓 1 4 3 より上方部分を覆う張出し部 1 6 1 と、フロントパネル 1 4 0 の表示窓 1 4 3 より下方部分を覆う膨出部 1 6 3 及び 1 6 4 とを備え、張出し部 1 6 1 と膨出部 1 6 3 及び 1 6 4 とが左右両側で上下に連結されて一体化された構造を有している。

#### 【 0 0 6 5 】

より具体的に説明すると、装飾パネル本体 1 6 0 A 上部には、前方へ張り出し状に形成され且つフロントパネル 1 4 0 との間に空間部 1 6 1 h を有してフロントパネル 1 4 0 の前面上部を覆うように張出し部 1 6 1 が設けられ、張出し部 1 6 1 より後方へ左右一対の取り付け片 1 6 2 が延設されている。張出し部 1 6 1 は、音声出力部 1 5 9 , 1 5 9 を左右方向に跨ぐアーチ状の外観を呈しており、中央では前方に数 c m ~ 十数 c m 程度張り出している。一対の取り付け片 1 6 1 には、折り曲げ板形状のヒンジ 1 6 5 がそれぞれ取り付けられており、装飾パネル 1 6 0 はヒンジ 1 6 5 を介して本体枠 1 2 0 に対して水平軸心回りに ( すなわち、上下に ) 開閉自在に枢着されている。ここで、図 1 6 は、装飾パネル 1 6 0 を本体枠 1 2 0 側へ閉じた状態を、図 1 8 は、装飾パネル 1 6 0 を上方へ開放して水平姿勢とされた状態を示している。

10

#### 【 0 0 6 6 】

張出し部 1 6 1 前面には情報表示部 1 5 7 が配設されている。尚、図 1 9 は、張出し部 1 6 1 付近を示す正面図であり、図 2 0 は、図 1 9 における C - C 線断面及び張出し部 1 6 1 と遊技者との位置関係を示す側面図である。情報表示部 1 5 7 は、張出し部 1 6 1 前面の左端近傍から右端近傍に亘る横長の長方形状を呈する液晶ディスプレイからなり、通信回線 3 0 5 を介してホールサーバ 3 0 4 から受信した表示用データに基づいて画面表示を行う。また、空間部 1 6 1 h 内で音声出力部 1 5 9 , 1 5 9 から音声が出力されて、音声が必要以上に周囲に広がらないので、当該遊技者には音声は明瞭に聴取され且つ周囲の遊技者には聴取されにくい。

20

#### 【 0 0 6 7 】

装飾パネル本体 1 6 0 A の略中央には、長方形状の窓部用開口部 1 6 0 a が形成され、フロントパネル 1 4 0 の表示窓 1 4 3 に装着されたガラス板 1 4 3 a を介して回転リールの遊技領域 1 1 4 を視認可能となっている。窓部用開口部 1 6 0 a の下方には、上皿 1 4 4 前面を覆うように前方へ膨出形成された膨出部 1 6 3 が設けられている。膨出部 1 6 3 は、図 1 6 , 1 7 に示すように、装飾枠 1 6 0 がフロントパネル 1 4 0 に対して閉じた際に上皿 1 4 4 を収容可能な空間が内部に形成されつつ、所望形状で前側 ( 遊技者側 ) に膨出形成されたものであり、上皿 1 4 4 上面を開口させる上皿用開口部 1 6 3 a が形成されている。この上皿用開口部 1 6 3 a により、上皿 1 4 4 に貯留された遊技球を取り出したり、或いは上皿 1 4 4 の貯留部に遊技球を補充したりすることができる。膨出部 1 6 3 の下方には、下皿 1 7 0 前面を覆うように前方へ膨出形成された膨出部 1 6 4 が設けられている。膨出部 1 6 4 は、図 1 5 , 1 6 に示すように、装飾枠 1 6 0 がフロントパネル 1 4 0 に対して閉じた際に下皿 1 7 0 を収容可能な空間が内部に形成されつつ、所望形状で前側に膨出形成されたものであり、下皿 1 7 0 上面を開口させる下皿用開口部 1 6 4 a が形成されている。この下皿用開口部 1 6 4 a により、下皿 1 7 0 に貯留された遊技球を取り出すことができる。装飾パネル 1 6 0 を本体枠 1 2 0 に対して閉じた際に、膨出部 1 6 4 下面が本体枠 1 2 0 下部前面の左右に設けられた脚状部 1 6 7 a , 1 6 7 a にてそれぞれ当接支持される。

30

40

#### 【 0 0 6 8 】

また、膨出部 1 6 3 の上面には、クレジットされている遊技球を投入するためのベットスイッチ 1 4 6 a や、クレジットされている遊技球を払い出すためのキャンセルスイッチ 1 4 6 b が設けられている。また、膨出部 1 6 3 の前面は操作部 1 4 7 となっており、回転リールの回転起動操作を行うスタートレバー 1 4 7 a 、及び左・中・右の回転リールにそれぞれ対応して設けられたストップスイッチ 1 4 7 b が設けられている。また、窓部用開口部 1 6 0 a を挟む両側や、膨出部 1 6 3 前面には装飾ランプ 1 4 2 が配設されている

50

。

## 【 0 0 6 9 】

次に、上述したパチロット機 1 0 1 を用いた情報提供システム 3 0 1 のシステム構成について、図 2 4 を参照しつつ説明する。情報提供システム 3 0 1 は、図 2 4 に示すように、遊技ホール外の情報提供センタ等に設けられる情報サーバ 3 0 2 と、情報サーバ 3 0 2 が接続されたインターネット網 3 0 3 と、遊技ホール側に設けられてインターネット網 3 0 3 に接続されたホールサーバ 3 0 4 と、遊技ホール内に設けられた通信線 3 0 5 と、遊技ホール内に設置されて通信線 3 0 5 を介してホールサーバ 3 0 4 と接続された複数のパチロット機 1 0 1 , ・ ・ 1 0 1 とから構成される。

## 【 0 0 7 0 】

情報サーバ 3 0 2 には、各種情報の表示用データが記憶されており、当該記憶された表示用データを、インターネット網 3 0 3 を介して各遊技ホールのホールサーバ 3 0 4 に対して定期的に配信する。情報サーバ 3 0 2 によって配信される表示用データは、地域の飲食店情報等の広告情報、ニュース、天気予報等である。ホールサーバ 3 0 4 は、インターネット網 3 0 3 を介して表示用データを受信して内部の記憶装置に記憶する。また、ホールサーバ 3 0 4 は、遊技ホールにおいて入力された表示用データをも記憶装置に記憶する。尚、遊技ホールにおいて入力される表示用データは、新台入れ替え情報、遊技機の新機種情報、景品情報、遊技ホールからのお知らせ等である。そして、ホールサーバ 3 0 4 は、記憶した表示用データを通信回線 3 0 5 を介して所定のタイミングで各パチロット機 1 0 1 へ送信する。各パチロット機 1 0 1 において、情報表示部 1 5 7 が受信した表示用データに基づいて画面表示を行う。図 2 5 は、情報表示部 1 5 7 において、新台入れ替え情報を表示した例を示している。

## 【 0 0 7 1 】

以上詳述したことから明らかなように、本実施形態によれば、情報表示部 1 5 7 が、立脚部 1 6 0 f を介して立ち上がる装飾枠 1 6 0 の上部にて本体前面を左右に跨ぐように設けられたブリッジ状の張出し部 1 6 1 に取り付けられているので、情報表示部 1 5 7 とフロントパネル 1 4 0 との間に空間部 1 6 1 h が形成され、フロントパネル 1 4 0 の上部前面に設けられた音声出力部 1 5 9 との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。特に、情報表示部 1 5 7 が遊技者側へ張り出して設けられるため、迫力ある視覚的効果が発揮される。さらに、張出し部 1 6 1 とフロントパネル 1 4 0 前面との間に上下に開放された空間部 1 6 1 h が形成されるため、フロントパネル 1 4 0 前面に必要な明るさが確保されて快適に遊技を楽しむことができる。

## 【 0 0 7 2 】

次に、本発明の第三の実施形態について、図 2 1 乃至図 2 3 を参照しつつ説明する。尚、第二の実施形態で説明した図 2 4 に示す情報提供システム 3 0 1 は、第三の実施形態においても共通に用いられるものとする。第三の実施形態の遊技機であるスロットマシン 2 0 1 は、図 2 1 及び図 2 2 に示すように、正面側に開口すると共に、複数種類の図柄が表示された複数 ( 3 個 ) の回転リール 2 2 1 が収容される本体キャビネット 2 2 0 と、本体キャビネット 2 2 0 の前面を覆うように左右に開閉可能に取り付けられ、各回転リール 2 2 1 の図柄を視認可能な表示窓 2 4 3 を設けたフロントパネル 2 4 0 と、フロントパネル 2 4 0 前面の大部分を覆うように上下に開閉自在に設けられる装飾パネル 2 6 0 とを備えている。本体キャビネット 2 2 0 前面下部には、合成樹脂、具体的には A B S 樹脂からなり、前方へ突出形成された左右一对の脚状部 2 6 7 a , 2 6 7 a を有する下部装飾部材 2 6 7 が取り付けられている。また、装飾パネル 2 6 0 が本発明の装飾枠を構成するものである。また、装飾パネル 2 6 0 を除き、本体キャビネット 2 2 0 及びフロントパネル 2 4 0 を主要構成とするスロットマシン 2 0 1 の全ての部分が、本発明の遊技機本体を構成するものである。また、本実施形態では、3 個の回転リール 2 2 1 において表示窓 2 4 3 から視認される領域が遊技領域 2 1 4 である。

## 【 0 0 7 3 】

本体キャビネット 2 2 0 は、天板、左右の側板、底板、裏板などから構成され、例えば

、薄板板金素材を切断、孔あけ、曲げ加工等して所定のパネル形状に加工した後、これ等の部材を溶接して図示する正面側に開口する箱状に形成される。

【 0 0 7 4 】

フロントパネル 2 4 0 は、合成樹脂の成型加工によって、本体キャビネット 2 2 0 の開口部分を覆う扉状に形成される。フロントパネル 2 4 0 には、本体キャビネット 2 2 0 に収容された左・中・右の回転リール 2 2 1 の前面側に対向する位置に、ガラス板 2 4 3 a が嵌め込まれた表示窓 2 4 3 が設けられ、各回転リール 2 2 1 に表示された図柄が視認可能となっている。フロントパネル 2 4 0 上部には、第 1 情報表示部 2 5 7 が配設されている。尚、第 1 情報表示部 2 5 7 が、本発明の遊技機本体の前面に設けられる所定部材を構成するものである。第 1 情報表示部 2 5 7 は、横長の長方形状を呈する大型の液晶ディスプレイからなり、通信回線 3 0 5 を介してホールサーバ 3 0 4 から受信した表示用データに基づいて画面表示を行う（図 2 4、2 5 参照）。フロントパネル 2 4 0 の高さ方向略中央部分は前方へ突出状に形成され、上面に遊技メダルを投入するためのメダル投入口 2 4 6 が設けられている。

10

【 0 0 7 5 】

フロントパネル 2 4 0 の下部には、各回転リール 2 2 1 の回転停止時の図柄の組合わせに基づく入賞態様に応じて払い出された遊技メダルを受けて貯留するメダル受皿 2 7 0 が設けられている。メダル受皿 2 7 0 は、合成樹脂の成型加工により上面が開口する箱状に形成されている。

【 0 0 7 6 】

装飾パネル 2 6 0 は、合成樹脂の成形加工により四方連携状に形成され且つ背面の各コーナー近傍（4箇所）に立脚部 2 6 0 f が突設された装飾パネル本体 2 6 0 A と、鋼材やアルミダイキャスト等の金属材料によりフロントパネル 2 4 0 の表示窓 2 4 3 を囲むフレーム状に形成され且つ装飾パネル本体 2 6 0 A の立脚部 2 6 0 f に取り付け固定されるベース部材 2 6 0 B とを備え、フロントパネル 2 4 0 の表示窓 2 4 3 の隠蔽を回避しつつ、フロントパネル 2 4 0 の前側表面の略全域を立ち上がった状態で覆うよう構成されている。ベース部材 2 6 0 B は、図 1 7 に示す第二の実施形態におけるベース部材 1 6 0 B と同様の形状を呈しており、装飾パネル本体 2 6 0 A はベース部材 2 6 0 B の各コーナー（4箇所）に形成された取り付け孔を介して図示しないビス等によってベース部材 2 6 0 B 前面に固定される。装飾パネル本体 2 6 0 A は、フロントパネル 2 4 0 の表示窓 2 4 3 より

20

30

【 0 0 7 7 】

より具体的に説明すると、装飾パネル本体 2 6 0 A の上部には、前方へ張り出し状に形成され且つフロントパネル 2 4 0 との間に空間部 2 6 1 h を有してフロントパネル 2 4 0 の前面上部を覆う張出し部 2 6 1 が設けられ、張出し部 2 6 1 より後方へ左右一対の取り付け片 2 6 2 が延設されている。張出し部 2 6 1 は、第 1 情報表示部 2 5 7 の上部を左右方向に跨ぐアーチ状の外観を呈しており、中央では前方に数 cm ～ 十数 cm 程度張り出している。一対の取り付け片 2 6 2 には、折り曲げ板形状のヒンジ 2 6 5 がそれぞれ取り付けられており、装飾パネル 2 6 0 はヒンジ 2 6 5 を介して本体キャビネット 2 2 0 に対して水平軸心回りに（すなわち、上下に）開閉自在に枢着されている。ここで、図 2 2 は、装飾パネル 2 6 0 を本体キャビネット 2 2 0 側へ閉じた状態を、図 2 3 は、装飾パネル 2 6 0 を上方へ開放して水平姿勢とされた状態をそれぞれ示している。

40

【 0 0 7 8 】

張出し部 2 6 1 前面には、第 2 情報表示部 2 5 8 が配設されている。第 2 情報表示部 2 5 8 は、張出し部 2 6 1 の左端から右端に亘る横長の長方形状を呈する液晶ディスプレイからなり、第 1 情報表示部 2 5 7 と同様に、通信回線 3 0 5 を介してホールサーバ 3 0 4 から受信した表示用データに基づいて画面表示を行う（図 2 4、2 5 参照）。ここで、2 つの情報表示部 2 5 7、2 5 8 における表示内容に関し、例えば、インターネット網 3 0

50



3を介して情報サーバ302より配信された地域の飲食店情報等の広告情報、ニュース、天気予報等については、第1情報表示部257で表示を行い、ホールサーバ304より送信される新台入れ替え情報、遊技機の新機種情報、景品情報、遊技ホールからのお知らせ等については、第2情報表示部258で表示を行うように構成してもよい。

#### 【0079】

装飾パネル本体260Aの略中央には、長方形の窓部用開口部260aが形成され、フロントパネル240の表示窓243に装着されたガラス板243aを介して各回転リール221の遊技領域214を視認可能となっている。窓部用開口部260aの下方には、前方に突出する台状の膨出部263が設けられている。この膨出部263の上面には、クレジットされている遊技メダルを投入するためのベットスイッチや、クレジットされているメダルを払い出すためのキャンセルスイッチ等を含む各種スイッチ263aが設けられている。また、メダル投入口246に対応する箇所には開口が形成され、装飾パネル260が本体キャビネット220側へ閉じた状態でメダル投入口246が露出するようになっている。また、膨出部263の前面には、回転リール221の回転起動操作を行うスタートレバー263b、及び左・中・右の回転リール221にそれぞれ対応して設けられたストップスイッチ263dが設けられている。また、フロントパネル240上下方向中央に設けられた膨出部263の下方の領域には、機種名称等が描かれた化粧パネル266が取り付けられている。

10

#### 【0080】

装飾パネル本体260Aの下部には、メダル受皿270前面を覆うように前方へ膨出形成された膨出部264が設けられている。膨出部264は、図22、23に示すように、装飾パネル260がフロントパネル240に対して閉じた際にメダル受皿270を収容可能な空間が内部に形成されつつ、所望形状で前側に膨出形成されたものであり、メダル受皿270上面を開口させるメダル受皿用開口部264aが形成されている。このメダル受皿用開口部264aにより、メダル受皿270に貯留された遊技メダルを取り出すことができる。装飾パネル260を本体キャビネット220に対して閉じた際に、膨出部264下面が本体キャビネット220下部前面の左右に設けられた脚状部267a、267aにてそれぞれ当接支持される。

20

#### 【0081】

以上詳述したことから明らかなように、本実施形態によれば、第2情報表示部258が、立脚部260fを介して立ち上がる装飾パネル260の上部にてフロントパネル240前面を左右に跨ぐように設けられたブリッジ状の張出し部261に取り付けられているので、第2情報表示部258とフロントパネル240との間に空間が形成され、フロントパネル240の上部前面に設けられた第1情報表示部257との干渉を回避しつつ、ワイドで見易い画面表示を行うことができる。

30

#### 【0082】

尚、本発明は上述した各実施の形態に限定されるものではなく、本発明の主旨を逸脱しない範囲で種々の変更を施すことが可能である。例えば、前記第一の実施形態において、装飾枠60を設けることなく、ガラス扉枠4上部にブリッジ状の張出し部を設け、その張出し部に表示装置を設ける構成としてもよい。第一の変形例のパチンコ機1'は、図26に示すように、外枠2と、その外枠2の前部に設けられ外枠2の一側部にて開閉可能に支持された本体枠3とを備え、本体枠3には、下皿ユニット51を除く本体枠3の前面側を覆うように、ガラス扉枠4が開閉自在に設けられている。尚、後述する張出し部47以外の外枠2、本体枠3及びガラス扉枠4を含むパチンコ機1'のすべての構成部材が本発明の遊技機本体を構成するものである。

40

#### 【0083】

また、ガラス扉枠4には、裏側から一对のガラス42が並行して取り付けられている。ガラス扉枠4の左右方向の長さは、本体枠3とほぼ同等であり、そのガラス扉枠4によって本体枠3下部に設けられた下皿ユニット51を除く殆どの部分が覆われるようになっている。ガラス扉枠4には、前記遊技領域14の殆どを外部から視認することができるよう

50

に略楕円形状の窓部 4 1 が形成されている。具体的には、前記窓部 4 1 は、その左右側の略中央部が、上下側に比べて比較的緩やかに湾曲した形状となっている。

【0084】

ガラス扉枠 4 の前面上部には、前方へ張り出し状に形成され且つガラス扉枠 4 との間に空間部 4 7 h を有する張出し部 4 7 が設けられている。ここで、図 2 7 は、張出し部 4 7 付近を示す正面図、図 2 8 は、図 2 7 における D - D 線断面及び張出し部 4 7 と遊技者との位置関係を示す側面図である。張出し部 4 7 は、遊技領域 1 4 上部を左右方向に跨ぐブリッジ状の外観を呈しており、中央では前方に数 cm ~ 十数 cm 程度張り出している（図 2 6 参照）。また、張出し部 4 7 前面には図柄変動表示装置 5 7 が配設されている。図柄変動表示装置 5 7 は、張出し部 4 7 の左端から右端に亘る横長の長形状を呈する液晶ディスプレイを備え、例えば、図 2 7 に示すように、左図柄列、中図柄列及び右図柄列の 3 つの表示列が画面表示される。各図柄列は複数の図柄によって構成されており、これら図柄が各図柄列毎にスクロールされるように表示画面に可変表示されるようになっている。

10

【0085】

これに対し、ガラス扉枠 4 における窓部 4 1 下方の下部フレームには、上皿 5 4 が一体的に設けられている。上皿 5 4 は、合成樹脂を成形することによって製造され、ガラス扉枠 4 の払出し口 4 5 より払い出された遊技球及び遊技者により投入された遊技球を貯留する貯留部 5 4 a、払出し口 4 5 より払い出された遊技球を貯留部 5 4 a へ流入させる流入口 5 4 l、及び貯留部 5 4 a に貯留された遊技球をガラス扉枠 4 の供給穴 4 9 を通して発射装置 3 1 側へ供給する供給口 5 4 r を有し、流入口 5 4 l 及び供給口 5 4 r の後端面においてガラス扉枠 4 にビス等を用いて取り付け固定されている。

20

【0086】

ガラス扉枠 4 の窓部 4 1 下方には、遊技球の貸し出しに関する操作を行うための貸球操作部 4 6 が設けられている。貸球操作部 4 6 は、図 2 6 に示すように、遊技球の貸し出し可能状態をランプによって示す貸出ボタンランプ 4 6 a、遊技球の貸し出しを行うための貸出ボタン 4 6 b、プリペイドカード 2 2 の返却を行うための返却ボタン 4 6 c、プリペイドカード 2 2 の残り度数を表示する度数表示 LED 4 6 d とを備えている。

【0087】

ガラス扉枠 4 の周囲（例えばコーナー部分や窓部 4 1 の周縁）には、各種ランプ、LED 等の発光手段を備えた電飾部材 6 2 が設けられている。これら電飾部材 6 2 は、大当たり時や所定のリーチ時等の遊技状態の変化に応じて点灯、点滅のように発光手段の発光態様が変更制御され遊技中の演出効果を高める役割を果たすようになっている。

30

【0088】

以上詳述したことから明らかなように、本変形例によれば、ガラス扉枠 4 の上部に前面を左右に跨ぐブリッジ状の張出し部 4 7 が設けられ、その張出し部 4 7 に図柄変動表示装置 5 7 が取り付けられることにより、表示装置 5 7 の取り付け強度を確保しつつ、ガラス扉枠 4 前面の遊技領域 1 4 上部を左右に跨ぐ構造を実現することができる。また、表示装置 5 7 が遊技者側へ張り出して設けられるため、迫力ある視覚的效果が発揮される。さらに、張出し部 4 7 とガラス扉枠 4 前面との間に上下に開放された空間部 4 7 h が形成されるため、ガラス扉枠 4 前面において必要な明るさが確保されて快適に遊技を楽しむことができる。

40

【0089】

また、図 2 9 に示す第二の変形例のように、図柄変動表示装置 5 7 の両端を回転自在に支持して、図柄変動表示装置 5 7 が所定の傾斜角となるように上下に回動可能に配設してもよい。本変形例によれば、図柄変動表示装置 5 7 が遊技者の視線方向となるように傾斜角を調整可能であるので、遊技者は、より一層容易に画面表示を視認することができる。

【0090】

また、前記第一の実施形態では、図柄変動表示装置 5 7 を液晶ディスプレイにより構成したが、図柄変動表示装置 5 7 を EL ディスプレイ（好ましくは、有機 EL ディスプレイ。尚、EL は、エレクトロルミネッセントの略。）により構成してもよい。EL ディスプ

50

レイを用いることにより、図柄変動表示装置 57 が高輝度で見易い画面表示を行うことができる。或いは、図柄変動表示装置 57 を LED ディスプレイにより構成してもよい。LED ディスプレイを用いることにより、図柄変動表示装置 57 が安価な構成で見易い画面表示を行うことができる。さらに、第二の実施形態において、情報表示部 157 をタッチパネル式ディスプレイにより構成してもよい。タッチパネル式ディスプレイを用いることにより、遊技者が指で情報表示部 157 の表面に触れることによって容易に各種の入力操作を行うことができる。入力操作としては、表示したい情報の選択入力を行えるようにしてもよいし、タッチパネル式ディスプレイ上に球貸しボタン等を設けて貸し球操作部を構成するようにしてもよい。

#### 【0091】

10

また、前記第一の実施形態の第一の変形例では、張出し部 47 を左右方向へ跨って設けたが、図 30 に示す第三の変形例のパチンコ遊技機 1 " のように、ガラス扉枠 4 の前面右端にて前方へ張り出し且つガラス扉枠 4 との間に空間部 47' h を有する張出し部 47' を、遊技領域 14 の右端部分を上下方向に跨ぐブリッジ状の外観を呈するように設け、張出し部 47' 上に縦長の表示装置 57' を配設するように構成してもよい。尚、遊技者から画面表示を視認し易くするために、表示装置 57' を左側へ所定角度傾斜させて配置することが好ましい。本変形例においても、表示装置 57' と遊技領域 14 との干渉を回避しつつ、上下サイズの大きな表示装置 57' によりワイドで見易い画面表示を行うことができる。尚、張出し部 47' を、ガラス扉枠 4 前面にて遊技領域 14 を斜め方向に跨ぐように配設する構成としてもよい。

20

#### 【産業上の利用可能性】

#### 【0092】

本発明は、パチンコ遊技機、スロットマシン、パチロット遊技機等の各種の遊技機に適用可能である。

#### 【図面の簡単な説明】

#### 【0093】

【図 1】第一の実施形態としてのパチンコ機の正面図である。

【図 2】(a) はパチンコ機の側面図であり、(b) は装飾枠及びガラス扉枠の上部を側面視して示す断面図である。

【図 3】パチンコ機の上面図である。

30

【図 4】パチンコ機の背面側における斜視図である。

【図 5】装飾枠及びガラス扉枠を開放した状態における本体枠、遊技盤等を示す正面図である。

【図 6】ガラス扉枠を示す正面図である。

【図 7】ガラス扉枠を示す背面図である。

【図 8】(a) は上皿付近の上面図であり、(b) は A - A 線断面図である。

【図 9】上皿における遊技球の流れを示す上面図である。

【図 10】(a) は装飾枠本体を示す正面図であり、(b) は図柄変動表示装置における表示例である。

【図 11】(a) は装飾枠のベース部材を示す正面図であり、(b) は装飾枠本体が立脚部においてベース部材に対して固定される様子を示す断面図である。

40

【図 12】装飾枠を上方へ開放した状態を示す側面図である。

【図 13】(a) 装飾枠が開放位置に保持された状態を示す側面図であり、(b) は装飾枠とガラス扉枠との係合状態を示す拡大断面図である。

【図 14】パチンコ機と遊技者の視界との関係を模式的に示す図であり、(a) は上面図、(b) は側面図である。

【図 15】第二の実施形態としてのパチロット機の正面側における斜視図である。

【図 16】パチロット機の装飾パネルを本体枠側へ閉じた状態を示す側面図である。

【図 17】(a) は装飾パネルのベース部材を示す正面図であり、(b) は装飾パネル本体が立脚部においてベース部材に対して固定される様子を示す断面図である。

50

【図 18】パチロット機の装飾パネルを上方へ開放した状態を示す側面図である。

【図 19】パチロット機の装飾パネルにおける張出し部付近を示す正面図である。

【図 20】図 19 における C - C 線断面及び装飾パネルと遊技者との位置関係を示す側面図である。

【図 21】第三の実施形態としてのスロットマシンの正面図である。

【図 22】スロットマシンの装飾パネルを本体キャビネット側へ閉じた状態を示す側面図である。

【図 23】スロットマシンの装飾パネルを上方へ開放した状態を示す側面図である。

【図 24】パチロット機（又はスロットマシン）を用いた情報提供システムの全体構成を示すシステム構成図である。

10

【図 25】情報表示部において新台入れ替え情報を表示した例を示す図である。

【図 26】第一の実施形態の第一の変形例を示す正面側における斜視図である。

【図 27】第一の変形例における張出し部付近を示す正面図である。

【図 28】図 27 における D - D 線断面及び張出し部と遊技者との位置関係を示す側面図である。

【図 29】第二の変形例における張出し部と遊技者との位置関係を示す側面図である。

【図 30】第三の変形例を示す正面側における斜視図である。

【図 31】従来のパチンコ機の正面側における斜視図である。

【符号の説明】

【0094】

20

1, 1', 1" パチンコ遊技機（遊技機）

2 外枠（本体）

3 本体枠（本体）

4 ガラス扉枠（本体）

14 遊技領域

41 窓部

47, 47' 張出し部

57 図柄変動表示装置（表示装置）

60 装飾枠

60A 装飾枠本体

30

60f 立脚部

101 パチロット遊技機（遊技機）

114 遊技領域

120 本体枠（本体）

140 フロントパネル（本体）

157 情報表示部（表示装置）

160 装飾パネル（装飾枠）

161 張出し部

201 スロットマシン（遊技機）

214 遊技領域

40

220 本体キャビネット（本体）

240 フロントパネル（本体）

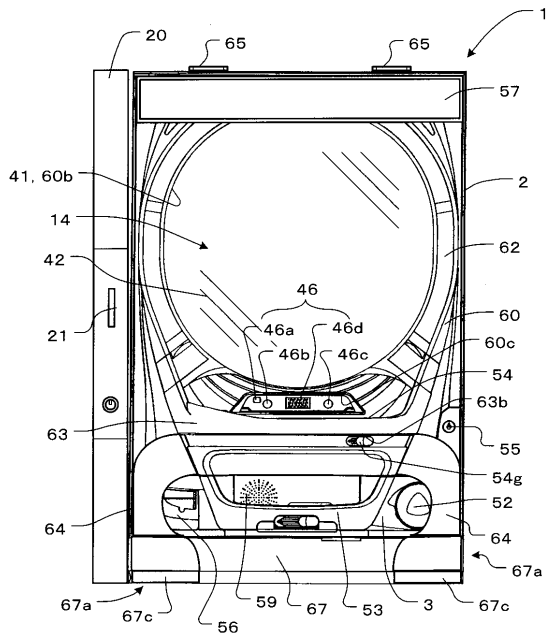
260 装飾パネル（装飾枠）

261 張出し部

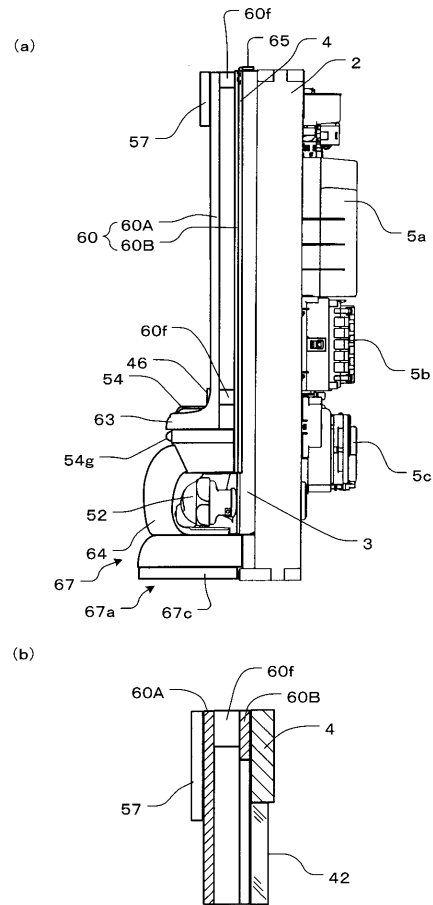
257 第 1 情報表示部（表示装置）

258 第 2 情報表示部（表示装置）

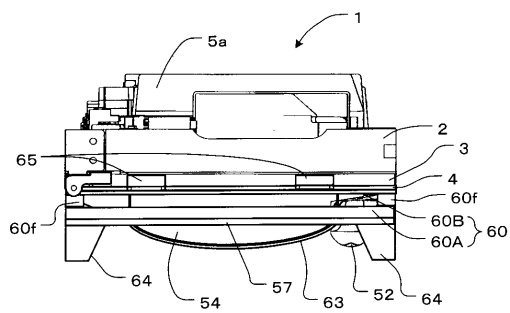
【図 1】



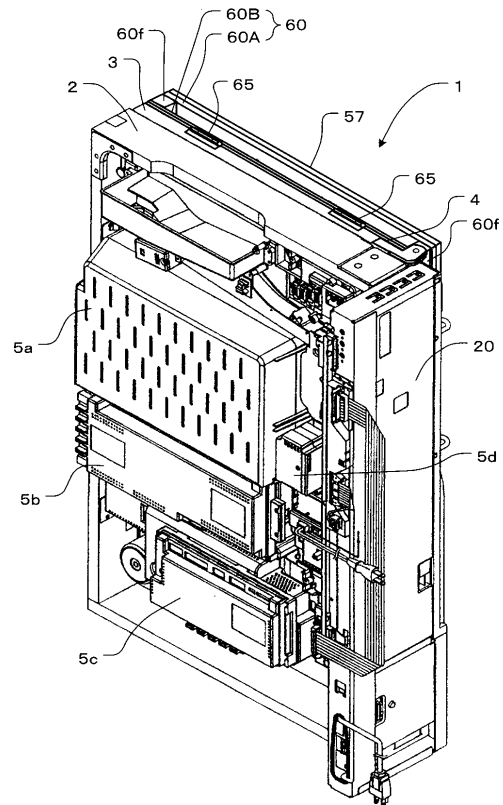
【図 2】



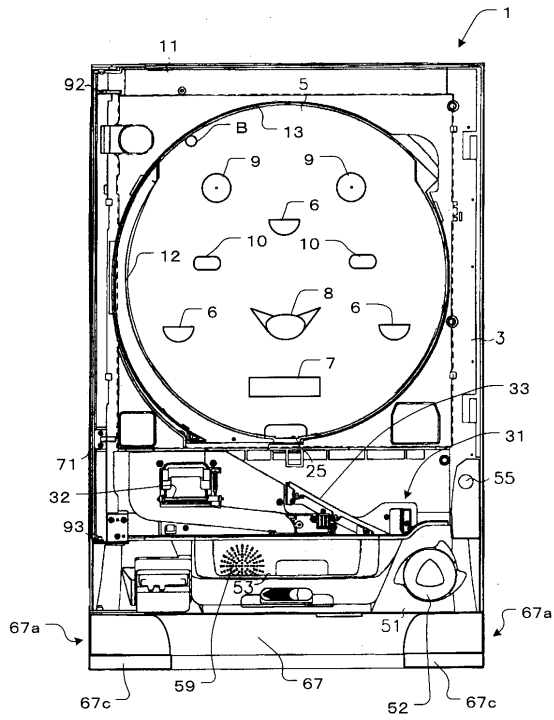
【図 3】



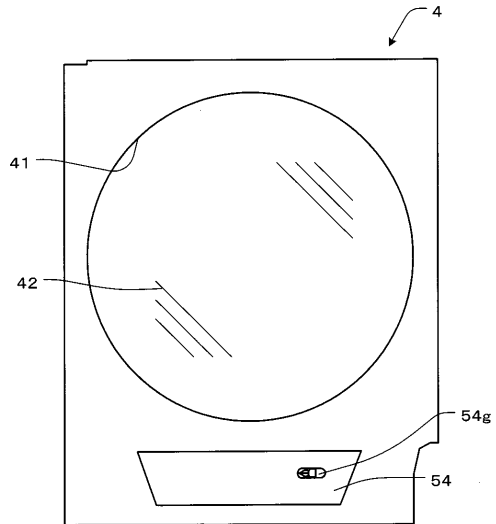
【図 4】



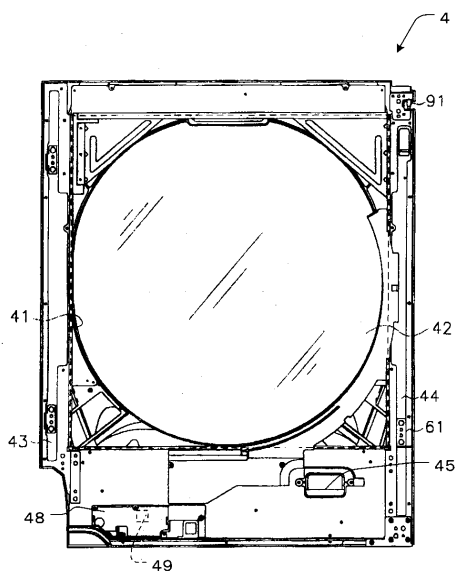
【図 5】



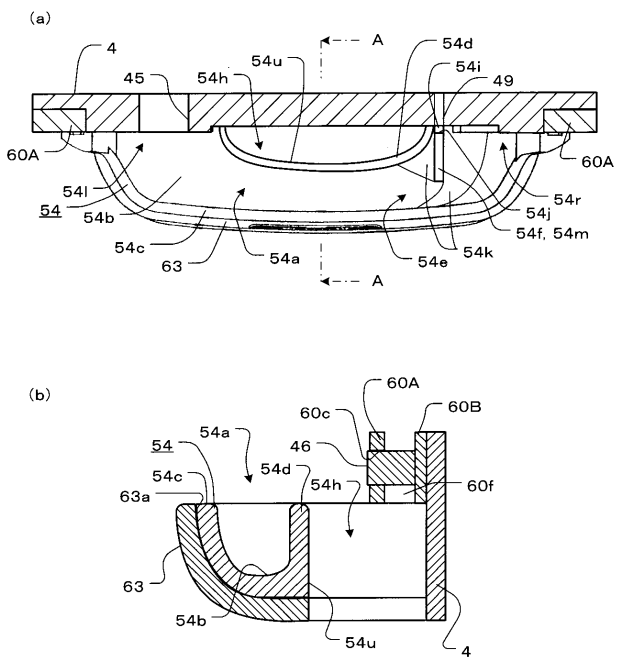
【図 6】



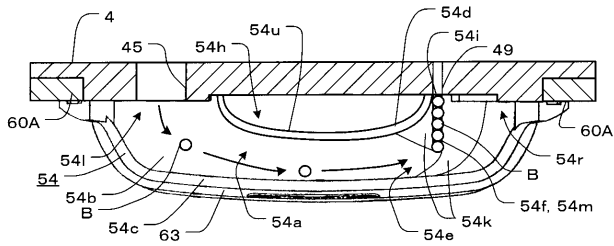
【図 7】



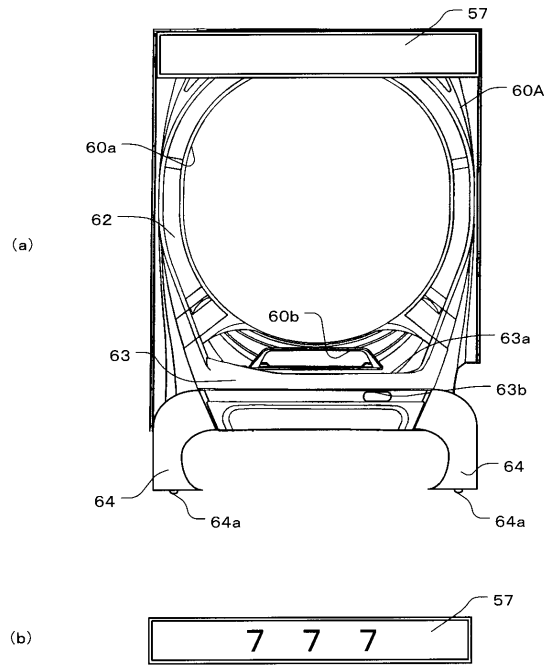
【図 8】



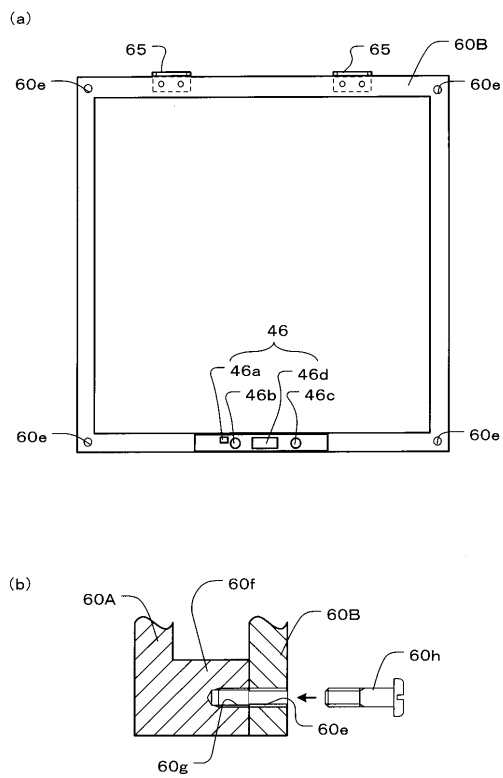
【図 9】



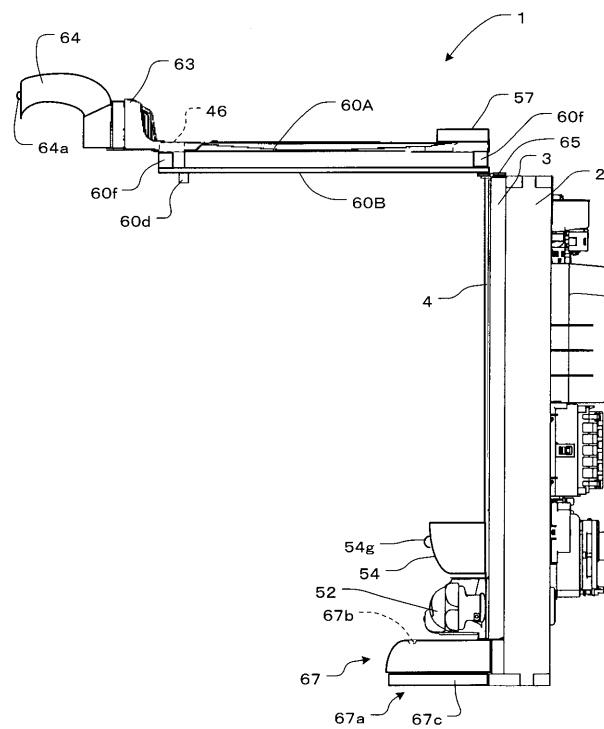
【図 10】



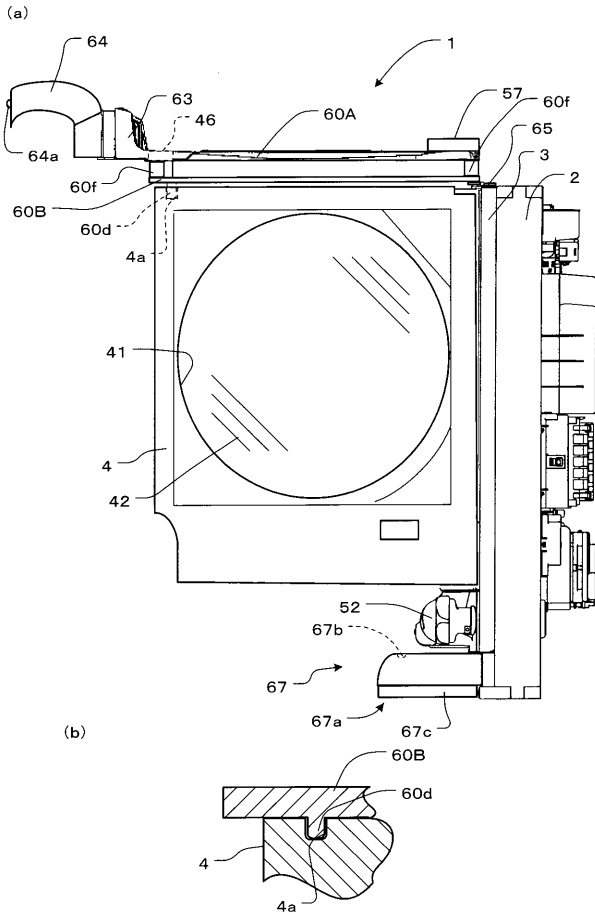
【図 11】



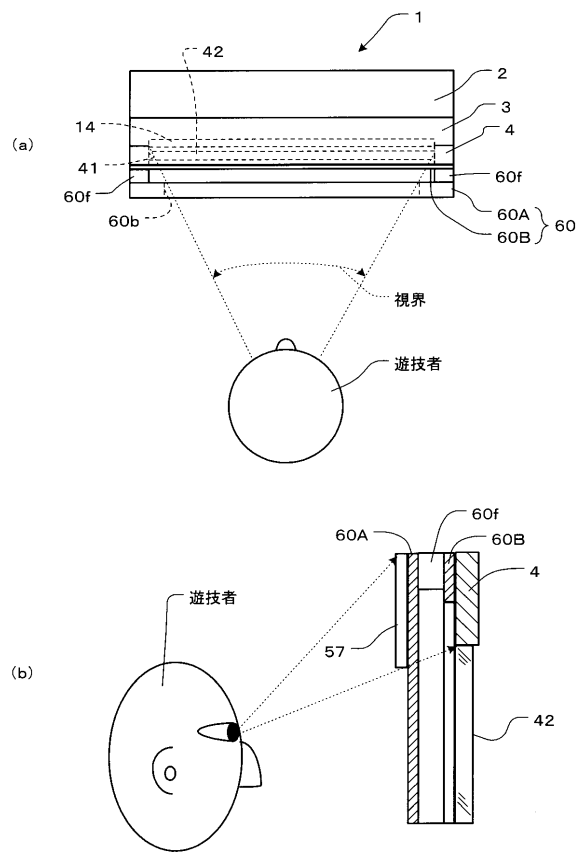
【図 12】



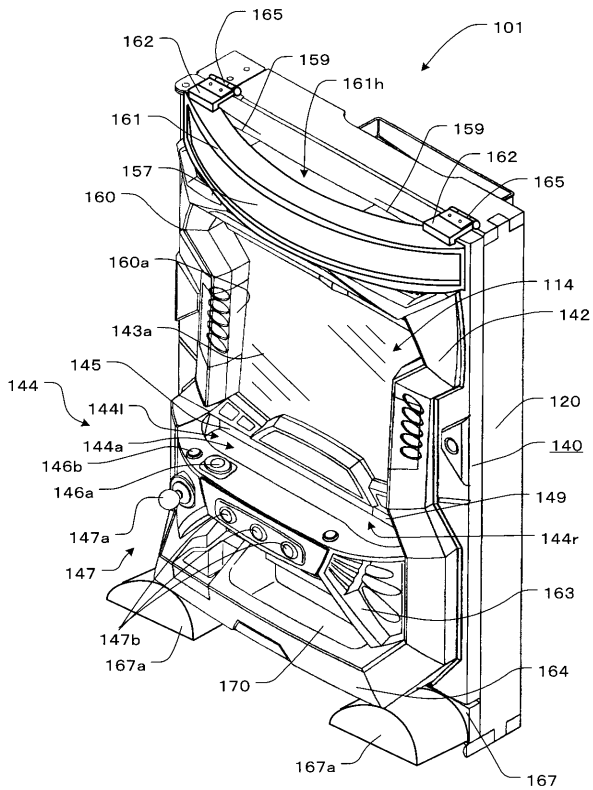
【図 13】



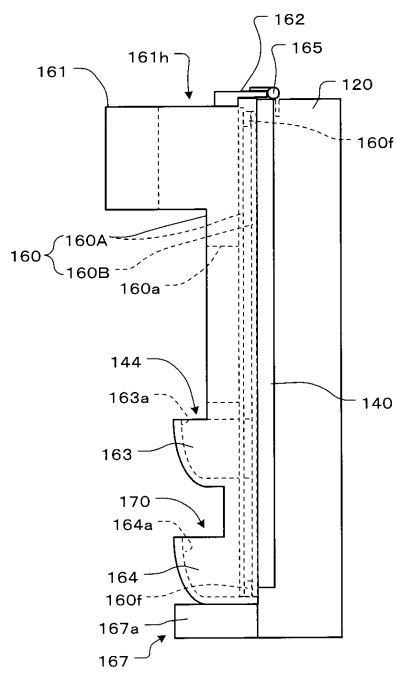
【図 14】



【図 15】

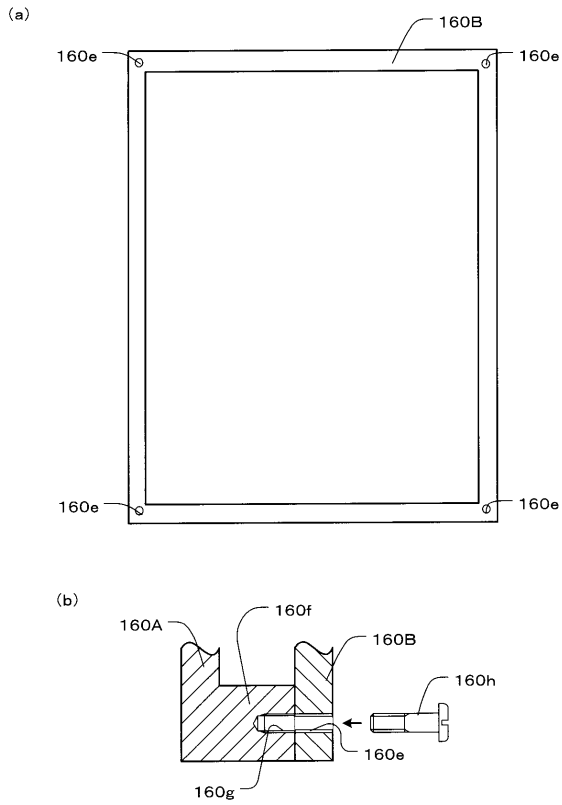


【図 16】

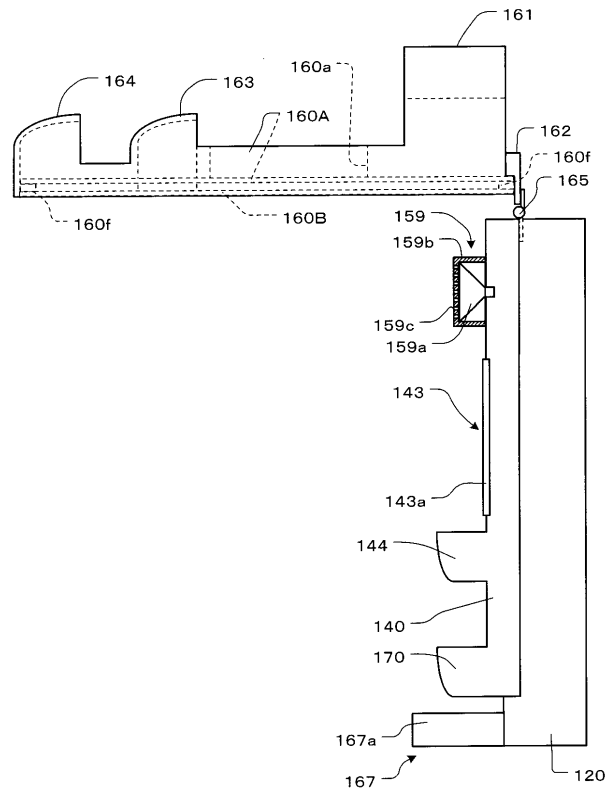




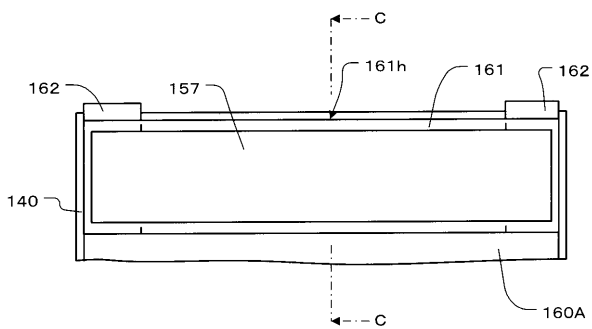
【図 17】



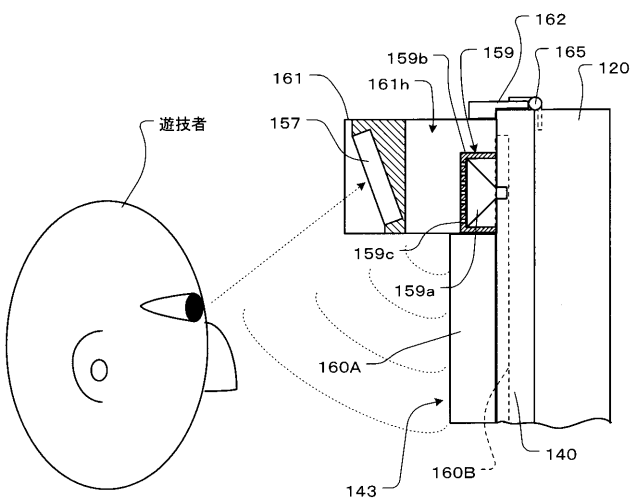
【図 18】



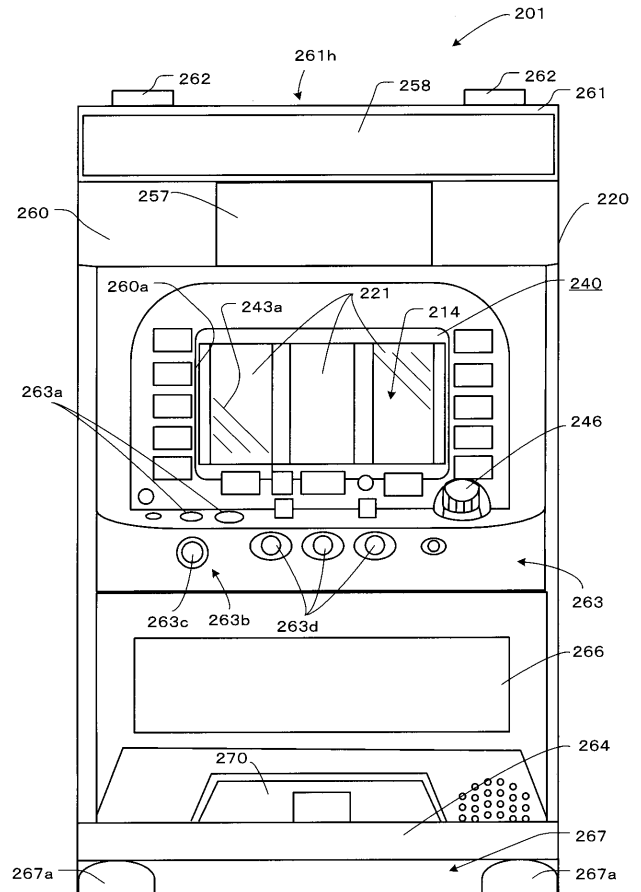
【図 19】



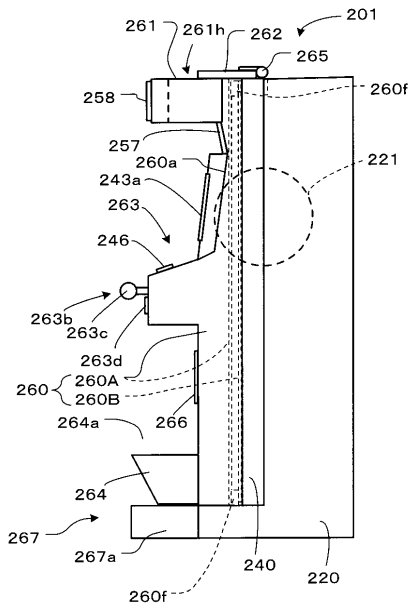
【図 20】



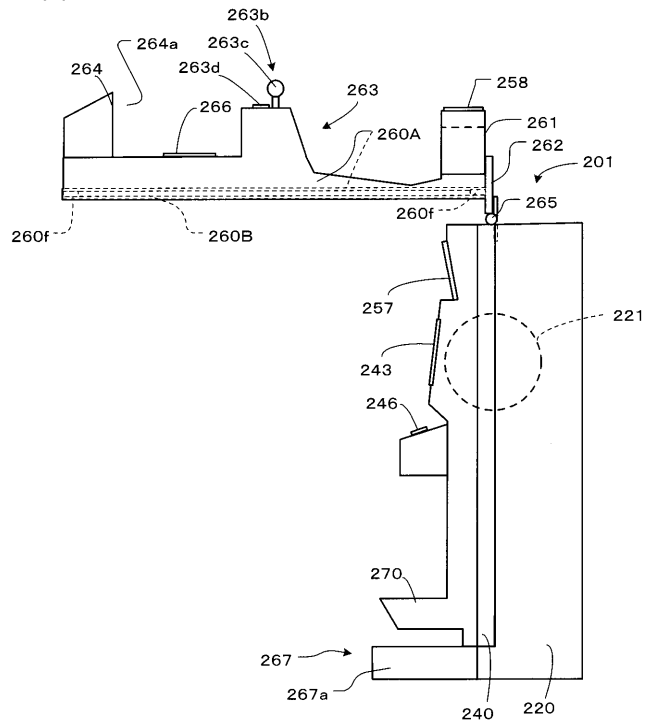
【図 21】



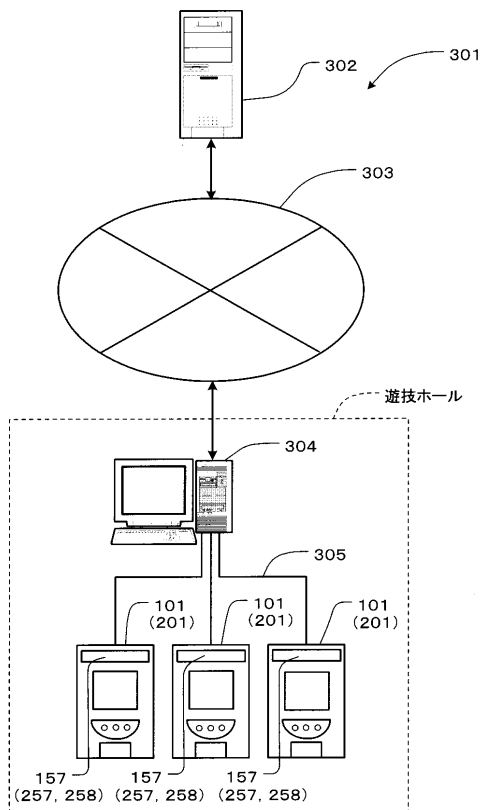
【図 2 2】



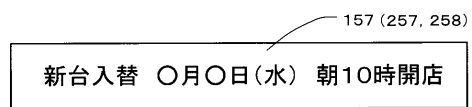
【図 2 3】



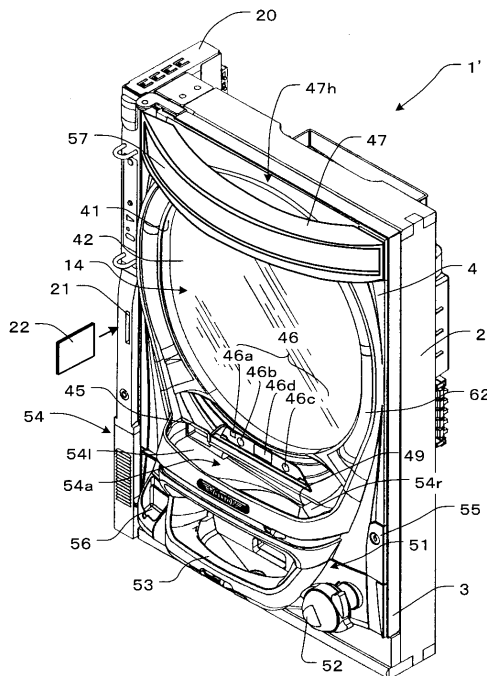
【図 2 4】



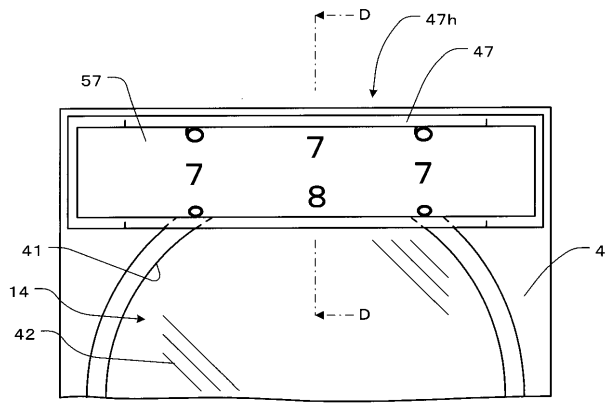
【図 2 5】



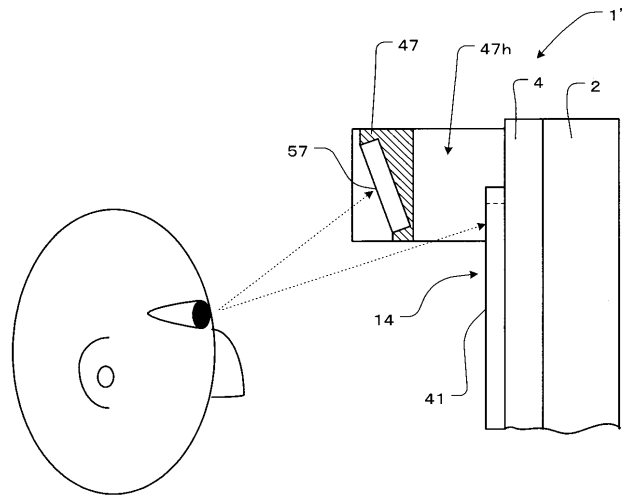
【図 2 6】



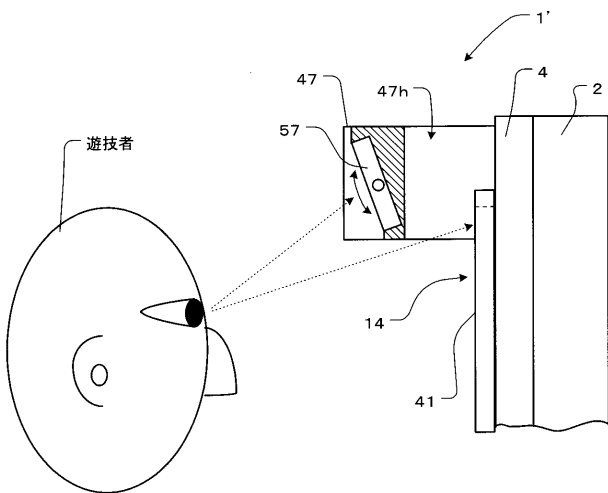
【図 27】



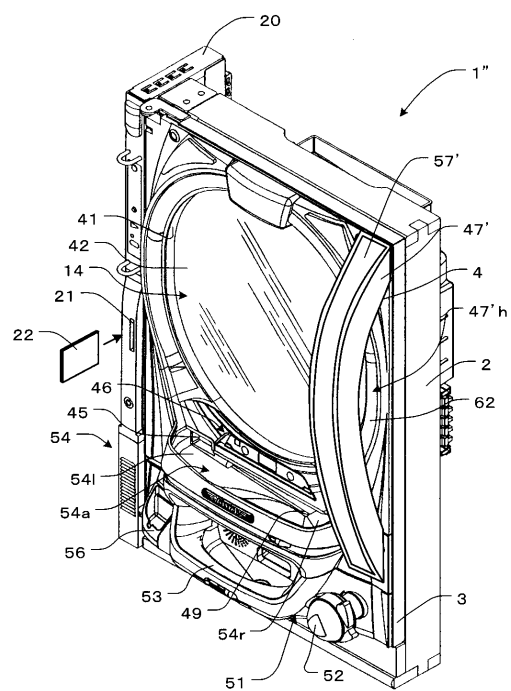
【図 28】



【図 29】



【図 30】



【図 31】

